

広報

YAME

やめ

【今月の主な内容】

六百年の時を超え再び 八女市・吉野町友好交流記念事業	2～5
「縁」を語る さだまさしアコースティックライブ	6～7
山本健吉資料室オープン	8～9
八女福島のまちづくり団体が「サントリー地域文化賞」	10
矢部ある記⑨-「修験者の峰入」	16



優雅に「浦安の舞」を奉納

※関連記事は2～5、22ページ



ふるさとへの感謝と誇りと愛着。そして、未来へ。

八女市は市制施行60周年・合併5周年を迎えました。

2014(平成26年)

No.1055

11



八女市・吉野町友好交流記念事業

六百年の時を超え再び

南北朝時代後醍醐天皇が朝廷を置き、南朝の拠点にした奈良「吉野」。後醍醐天皇の皇子・懐良親王ゆかりの地など貴重な資料が残る「八女」。歴史的深いつながりのある八女市と吉野町は、歴史文化交流を促進し、「両市町のさらなる発展と歴史遺産を多くの人たちに伝え、継承していくため」「友好交流都市協定」を締結しました。

八女市と奈良県吉野町の友好交流都市締結調印式が9月23日(祝)、両市町の関係者など約200人が出席し、おりなす八女はちひめホールで行われました。川口誠二八女市議会議長と上滝義平吉野町議会議長の立ち会いのもと、三田村統之八女市長と北岡篤吉野町長が互いに協定を交わしました。

後醍醐天皇が朝廷を置き、南朝の拠点にした「吉野」。後醍醐天皇の皇子・懐良親王ゆかりの地や後村上天皇の皇子・良成親王の御陵墓や懐良親王の補佐役として九州に下向した五條頼元を始祖とする五條家に残る五条家文書など貴重な資料が残る「八女」。歴史的つながりがある吉野町を昨年

5月、三田村市長が訪れて南北朝の歴史文化をもとにした交流を申し入れました。その後も、交流を深めながら今回の調印式を迎えました。

調印式では協定書に互いに署名し、しっかりと握手を交わしました。三田村市長は「私たちには、黒木、矢部、星野の先人が何百年の歴史の中で、大切に守り、継承してこられた歴史遺産を次の世代に継承していく責任と役割があります。同時に交流を深めて、文化や教育や産業の振興を深めていきます」とあいさつ。吉野町の北岡町長は「南朝の勢力を支えたのは、武士だけではなく、その土地の民衆が支えたと思っています。」



「九州南朝の歌(金鳥の御旗)」を披露する八女市観光大使の岩崎さん

600年を超える遠い昔、南朝の勢力を支えるという同じ思いを持っていた吉野町と八女の人々が、この時代に再び手を携えて地域の振興を目指そうと協定を結ぶことは、本当に大きな意義があります」と話しました。調印後には、南朝の歴史を歌った八女市観光大使の岩崎記代子さん作曲、太郎良盛さん作詞の「九州南朝の歌(金鳥の御旗)」が、初めて披露されました。

パネルディスカッション

今昔の歴史をつむぐ

奥八女に眠る南北朝時代と地域の振興

これまで地域の南北朝の歴史を大切に守り伝える取り組みを続けてこられた人々と八女市長・吉野町長とともに、地元で眠る歴史についてその検証を交え、これらの遺産をこれからの八女市・吉野町の発展のためにどのように活用していくことができるか。コーディネーターに福岡県地方史研究連絡協議会副会長の佐々木四十臣さんを迎え、パネリストの皆さんが意見を交わしました。

南北朝の歴史を守り伝える各地域の取り組み

佐々木 市内の各地域には、懐良、良成親王を含め多くの南朝の文化財が残り、保存・継承活動などが行われています。その紹介をお願いします。

月足 五條家宝物顕彰会は40数年前に発足しました。昭和57年から大洲地区全体の顕彰会として、9月23日の五條家御旗祭で私有財産である国の重要文化財を拝ませてもらい、五條家の長年の遺徳をしのぶとともに住民が五條家をうやまいながら、地域遺産を活用し後世に伝



コーディネーター
佐々木四十臣さん



五條家宝物顕彰会会長
月足靖彦さん

えていこうと活動しています。

五條 『五条家文書』『金鳥の御旗』を所蔵すること680年。先代が守り続けてきたものを、私がその後を守り続けることはあらためて身の引き締まる思いです。これらは個人のものですが、地域、市、県あるいは国のものであり、顕彰会のある地元で支えてもらい、八女市にもアドバイスをいただきたいながら、保存管理に万全を尽くしています。これからは、いかに地域の方々たちと共有しながらそれを喜び、誇りとしていくのか

ということになります。五條家御旗祭を毎年9月23日に行っています。ぜひ多くの人に見ていただきたいと思います。

山口 矢部村では昔から大杣公園祭という形で親王の御霊をなぐさめる神事として、命日にあたる10月8日に行われてきました。大杣公園祭に向けて地域挙げて取り組み、特にご陵墓近くの御側おそばでは前々日から準備をして当日も朝早くから取り組んでいます。

佐々木 紹介された以外に星野村には、昭和57年に懐良親王の六百回忌の法要を祈念して結成された懐良親王顕彰会という組織があります。毎年、懐良親王の命日に法要を行い、平成14年の法要の際には、九州管内の墓所とされる7か所を調査研究した結果、星野村が墓所であることを全国に向けて発信しました。星野村でも、南北朝を含め地元の歴史を検証している皆さんがいることをここで紹介しました。

吉野町・八女市における南朝の歴史遺産

佐々木 この南北朝時代の遺産を起爆剤として両市町のさらなる交流が実りあるものになることを期待しています。まず、



矢部公民館長
山口久幸さん

吉野町、八女市における南朝の遺産についてお願いします。

北岡町長 如意輪寺には北を向いたご陵墓があるように、吉野町には多くの南朝の遺産があります。八女に来て手厚くいろんなことをされていることに驚きました。吉野町ではお寺と宮内庁が協力されています。如意輪寺には、後醍醐天皇のお姿を自ら写したと伝わる木彫像や御宸筆などがありますが、町挙げておまつりしていませんので、今後、皆さん方のお力を借りながら町としても取り組んでいきたいと思っています。

星野



懐良親王御墓所

懐良親王は後醍醐天皇の皇子で、8歳の時に征西將軍の命を受けました。正平3年(1348年)、菊池氏の本拠地隈部城に入り、正平14年(1359年)8月には九州をほぼ平定しましたが、文中元年(1372年)、太宰府の陥落により零落の一途をたどりました。

天授3年(1377年)星野村の大円寺に入り、この地で九州にある南朝方の統率にあたりましたが、弘和3年(1383年)3月27日、55歳で逝去されました。

三田村市長 合併して市内各所に赴く中で、八女ほど文化遺産が豊かにあるところはないと痛感しました。南朝と筑紫君磐井の歴史は、八女市の歴史文化の象徴であり極めて重要な文化です。地域の皆さんが守ってこられたものを、市全体のものにしていくことがこれから大事なことでないか。子どもたちも含めて、八女市民が歴史遺産に誇りを持てるような時代を子どもたちに譲っていく責任があります。それが次の新しい八女市の時代を築くことになると思っています。八女の貴重な歴史文化をしっかりと継承していく基盤づくりをしていかなければいけません。



八女市長 三田村統之

なども含めてもつと南北朝時代を広くとらえるという点ではどうでしょうか。

三田村市長 ぜひその歴史をたどっていきたいと思います。まずは、

南朝を長年にわたり支えてきた菊池一族。今日は菊池市の江頭市長に参加いただいています。後醍醐天皇の拠点、九州制圧の戦いに挑んだ懐良・良成親王、それを九州で支えた菊池一族の3者がぜひ一つになることをお願いし、広い気持ちで取り組んでいかなくてははいけません。

佐々木 懐良親王が九州征西府を開くには菊池氏の力が不可欠でした。菊池氏と両親王に親子ともに随従した五條氏と連携をとって進めていくという市長の考えに私たちは期待したいと思えます。

南北朝の歴史を縁にした 今後の具体的な交流は

佐々木 南北朝の歴史を縁に文化を深めていくことで具体的な活動、交流を考えていますか。
三田村市長 歴史文化をテーマに市民にも吉野のさまざまな南朝の歴史遺産をご承知いた



吉野町長 北岡 篤さん

き、ぜひお出掛けいただきたい。特に吉野の桜は有名です。吉野町が桜サミットに参加されていることから、八女市もこのサミットに参加させていただきます。

また、八女を担う子どもたちの交流をぜひ実現したい。吉野の素晴らしさを見てもらい、あらためて八女の素晴らしさを感じてもらいたいし、いろんな交流をしていきたい。

北岡町長 いろんな共通している点があり学びあいたい。吉野町は消滅する可能性のある市町村の全国第9位になりました。どうやって阻止するか考えていく中で大事な点があります。

吉野町には、数多くの誇れるものや歴史文化があるので、地元の人たちが認識してい

ません。子どもたちも含めて町のことを誇ることができるようにどう持っていこうかと考えています。その一つとして、古代からをひとつの物語として伝えて吉野を理解してもらい、そこから誇りを持ってもらえるようにしたい。また、スギヤヒノキの素晴らしさや桜の美しさを伝えるために、さまざまな事業を行っています。

子どもたちが互いに自慢話できるような、逆にそれぞれのいいところを勉強できるような形で、自分たちのふるさとを誇りに思えるような交流をしていきたいと思えます。

佐々木 短い中で講演いただいた森先生にせっかくの機会ですのでお尋ねします。講演の中で『延元3年9月に伊勢の港を4人の皇子が一斉に船出した』ということですが、そこには「**牧宮**」という名前がでてくるが懐良親王とは書いてありません。「**牧宮**」という宮名は認知度が低いがそこを詳しく教えてください。

森 「**牧宮**」の資料は一つだけです。四国を経由して九州に



基調講演者 森 茂暁さん

黒木



五條家

五條家は、明経道をつかさどる公家として代々朝廷に仕え、南北朝時代、始祖・五條頼元は南北朝の争乱に際し幼少の征西將軍懐良親王の補佐役として随行し九州に下向しました。また、北朝勢力の打倒を謀るため、肥後の菊池氏とともに忠勤を尽くしました。「**五條家文書**」(369通17巻)と「**金烏の御旗**」は国指定重要文化財であり、毎年、秋分の日の「**五條家御旗祭**」(関連記事22ページ)で一般公開されています。

各地域の今後の取り組み

入ったのは懐良親王だけなのでそうなります。ほかに資料がなかつきません。

佐々木 懐良親王はたくさん宮名をもった方であり、私たちの理解の中に「**牧宮**」という呼称があるということを増やすことができました。

佐々木 南北朝の歴史を今後市民によく知ってもらい、継承していつてもらうという市長の考えを踏まえたいので、今後どのようなことをやっていこうと考えていますか。

月足 会場に一つの歴史文化認識を共有する立場にあって、市民の共有文化として南朝の歴史文化を一人一人がどう自分たちの歴史文化としてとらえてい

くかが大事だと思います。今後は互いの知らなかった星野、矢部、黒木の歴史文化について、幅広く市民の皆さんに認識してもらえよう情報を提供していきます、南朝の歴史を市民共有文化としてとらえることができるよう取り組んでいきたい。

山口 矢部の地は、昔から五條氏の城があり守りに適していました。また、八女津媛や卑弥呼などの伝説があり、八女地方は昔から政治経済の進んでいたところだったのでないか。だからこそ、良成親王は八女の地に逃げてこられたのではないかと思います。南北朝合一以降もなぜ吉野に戻られなかったのかは、南朝のために力を尽くした五條家、菊池家のため、また八女の地が温かい土地ではなかったのかと考えます。矢部村の人

大仙公園

約600年前の南北朝時代にこの地でなくなった後征西將軍良成親王（後村上天皇の皇子）の御陵墓がある公園。10月8日の命日には「大仙公園祭」（関連記事22ページ）が催され、公卿唄や浦安の舞が奉納される。午後は、奉納剣道、相撲大会が開催される。



矢部

私たちは良成親王に対して、誇りと感謝の気持ちを持っていきます。これを生かしていきたい。黒木には良成親王お手植えの藤があり、多くの人が訪れますが、ぜひとも矢部にも足を運んでもらいたい。矢部には公卿唄も残っていますので文化面での交流、そして子どもたちの交流も進めてほしいと思っています。



五條家25代当主 五條元滋さん

五條 シンポジウムのポスターですが、とてもきれいに出来上がっています。吉野の桜と筑後川の合戦を描いた襖絵と自然な形でマッチしており、このような形で交流も進んでいけばと思います。森先生の講演は、これを機に次につながるような形でゆっくりと史実を確かになら、八女に住むということを再発見させていただければと思います。地元で神官をしています。地元にはまつりや社があり、そこに誇りと自信を持っていきます。その土地に住み、土地を開墾し過こされてきた先

大人になっていくと思います。私は家と宝物を守り、地域の人と交流しながら、確かな地元を守っていきたい。市と顕彰会、矢部の人々に支えていただいています。今後は星野の人々とも交流を深めながら維持管理に努めていきたい。

北岡町長 シンポジウムのポスターの桜は吉野山の如意輪寺の写真です。ぜひ皆さんにも吉野に足をのばしてもらいたい。私のすることは、いろんなところで話をして機運を盛りあげて、これからの種まきをしながら、八女市のことを伝えていき、交流を深めていきたい。それが互いのふるさとを思う気持ちにつながっていく、お互いのふるさとの繁栄につながっていくと思

いますので、皆さんのご協力をお願いします。

三田村市長 新しい八女市作りを目指して、南朝の歴史を通じて市民の皆さんが同じ意識になり、文化や交流を通じながら、新しい八女市の基盤作りを将来の子どもたちのために努力していかなくてははいけません。お互いに情報交換し、学びあうことができると思います。吉野の素晴らしい桜はもちろん、さまざまな南朝の歴史遺産を市民の皆さんにぜひ訪れてほしい。

シンポジウムには、南朝の歴史で関わりのある菊池市の江頭実市長も出席。江頭市長は「菊池市も一緒にとお誘いいただきありがたい。八女市と吉野町と結ぶことで菊池一族あるいは懐良親王を含めさまざまな物語が浮かび上がります。それが人を感動させ、にぎわいを作り出して3つの市町の活性化につながれば、領地を守った先祖の無念も晴れることだと思えます。地方の持つ自然や食物、歴史物語こそ人を呼び込む源。未来に向け3つの市町の力を合わせて、進んでいければと思います」とあいさつしました。



(上) 藤が愛と平和の証となるよう願う良成親王 (下) 「ありがとうふるさと」をみんなで歌う

基調講演も行われ、福岡大学文学部歴史学科教授の森茂暁教授が「征西將軍宮と九州の南北朝」と題して講演。九州制圧の命を受けた征西將軍・懐良親王が忽那島、谷山

そして菊池を経て大宰府入りを経てのまを史料をもとに明らかにされました。また、3月にオリジナルミュージカル劇「良成親王と姫御前」黒木大藤物語・藤の記憶」を上演した劇団「大藤」がミニ音楽劇「藤の記憶」良成親王吉野を恋ふる」を上演。吉野から遠く離れた矢部村高屋城で、自分の人生を振り返る良成親王の心情を歌と演技で表現。会場から多くの拍手が送られました。

「縁」えにしを語る

さだまさしと山本健吉の親交が
つなぐふるさとのかおり
さだまさしアコースティックライブ



おりなす八女で10月13日(祝)、八女市制60周年・合併5周年記念事業 さだまさしアコースティックライブが開催されました。これは、さださんと八女市無量寿院に眠る文芸評論家・山本健吉さんが親交の深かった縁により実現したものです。山本健吉さんの在りし日の思い出やふるさとについて、たっぷり語っていただいた2時間半のコンサートでした。

山本健吉さんとさだまさしさん

さださんと八女のつながりは平成24年5月7日、山本健吉さんの25回忌法要に参列するために無量寿院(八女市本町)をさださんが訪れたことに始まります。本堂

で法要が終わったあと、参列者の前で健吉さんとの思い出を語り、健吉さんが大変褒めてくれて生前よく歌っていたという『防人の詩』を献歌したさださん。さださんは、健吉さんのお墓を守ってくれている八女の人々に大変感謝し、再び八女の地で歌うことを約束しました。今回このような縁でコンサートが実現。当日は健吉さんの長女・石橋安見さんも来市。安見さんはさださんとともに10月10日(金)に八女市立図書館2階に開館した『山本健吉資料室』を見学し、そのあとコンサートを楽しましました。

一番辛かった時に支えてくれた

心配された台風の影響もほとんどなく、コンサート会場となったおりなす八女ホールは満席。さださんの登場に、

割れるような拍手と歓声が沸き起こりました。台風情報にやきもきしたというさださん。山本健吉さんとは同郷(長崎)であり、家族同然のつきあいがあったこと、精神的支柱であったことを語り、故人との思い出の曲『防人の詩』を熱唱しました。

「一番辛かった時、さだは暗いとぼろぼろに言われていた時に、堂々と僕を弁護する文章を新潮45に書いてくれた。それがどれだけ弱くなった僕の心を支えてくれたことか。世界中が敵でも山本健吉が味方なんだと思っただけ瞬間にね、いやなこと何もかもぱつと消えていくの。本当の僕の父親以上の存在であったと思います」

健吉さんの最初の妻であり、安見さんの実母である石橋秀野さんについて『素晴らしい俳人』と讃えるさださん。

「絶句となった『蟬時雨』児は擔送車に追ひつけず』の句では、自分が死ぬ間際の時にもお母さんという生きものは子どもを思いうんだなとびっくりしました。石橋秀野に非常に興味を持ってパソコンで調べているうちに八女の杉山先生のブログにたど

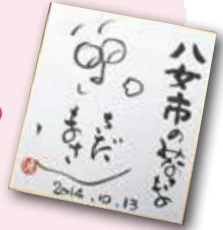




さだまさしと山本健吉対談写真(ゆめいくみはびい[参]
さだまさし(新書館)より複写:撮影/斉藤健一)

さだまさしさん からのメッセージ♪

(さだまさしアコースティック・ライブ
パンフレットより)



25・6歳の頃だ。僕が『お爺ちゃま』と慕っていた同郷の偉人、今里広記さんに山本健吉先生に引き合わされたのは新橋の料亭金田中だった。同じ日に哲学者の谷川徹三先生、仏文学者の葦原英了先生、現役だった王貞治さんとも一緒させていただき、僕は宴会のテーブルの隅っこで小さくなっていた。以来皆さんにかわいがっていただいたが、殊に山本健吉先生は僕を我が子のようにかわいがってくださった。当時山本一家の長男は角川春樹さん、僕が次男坊と呼ばれたほどだ。『防人の詩』が勝った戦争映画の主題歌であったことから「好戦的」「右翼的」などと批判にさらされ、折から「さだは暗い」という揶揄とともに僕は世の中を敵に回したような気持ちに追い詰められていたころ、山本先生は新潮45に『さだまさし頌』という一文を寄稿してくださり僕を弁護してくださった。この当時は酒席によくお相伴させていただいたものだが、ある時山本先生が僕の耳元でささやかれた。『防人の詩』は良い。あれはね、昭和文学史に残るよ。僕が凍りついていると、先生は続けられた。「僕が残す」と。

世の中すべてを敵に回しても山本健吉が味方だ、と思ったとき、僕の心の中にわいてきた勇気が、今までの僕のすべてを支えたと思う。まことに生命の恩人だ。安見さんのことを当時から『お姉ちゃん』とよんできたが、お姉ちゃんが『石橋秀野』の実娘だと知ったのは、つい最近のことだ。八女にお住まいの杉山洋先生のブログにたどりついて、杉山先生にも様々な教えいただいた。ご縁はこうして果てしなく広がってゆく。山本一家の次男坊は、大したものを残さずに生きて来たが、いやいやこれからこそ先生に褒めていただく仕事をしなければと、心に命じているところだ。山本健吉はこころの父である。



平成24年

山本健吉 25 回忌法要にて

平成24年5月7日、無量寿院で行われた山本健吉さんの25回忌法要に参列したさださん。墓参りのあと本堂で法要に参列し、健吉さんとの思い出を語り、八女の皆さんに感謝の言葉を述べました。「25年目の法要にお招きいただいたので、ありがたくお参りさせていただきまし

た。山本先生は文学に貢献した、俳句にはものすごい力を注がれた偉大な文学者です。あれだけの人が置き去りにされていたらどうしようとの恐怖心がありました。けれど八女の無量寿院という立派なお寺で、地元の人たちが守ってくれている。ちゃんと先生の居場所があるということにほっとしています。八女の皆さんに大変感謝しています」

りつきました。すぐに連絡を取らせていただいて、そのご縁で25回忌にお参りさせていただくことになりました。石橋秀野がつないでくれたんですね。今回、市制施行60周年・合併5周年記念という大事な時によんでいただき感謝します」と話しました。

また再び八女の地で

家族でさださんのコンサートに行っていたという健吉さん一家。さださんは「僕らの仕事は下りのエスカレーターを昇っていくようなもの。立ち止まった瞬間にもっと後に下がる。音楽や文化・芸術はそんな仕事。必死でたかかっている。年を取るということはどういうことか。できることがどんどんできなくなっていくと思っているのは間違い。うまくなるんですよ。僕は歌もだ

いぶんうまくなった、ね？」と、最前列に座る安見さんに問うと「20には20の、30には30の、40には40のうまさがあると思います」と応じた安見さん。当意即妙に拍手がわき起こりました。

笑いあり、涙あり、感動の2時間半のコンサートが終了し、市長がさださんへ花束を贈呈しました。また再び、さださんの歌を八女の地で聞く日が訪れますように。



三田村市長からさださんに花束のプレゼント

山本健吉

資料室オープン

石橋秀野

日本を代表する文芸評論家で文化勲章受章者の山本健吉と、妻で俳人の石橋秀野の遺作品等を展示する「山本健吉資料室」が10月10日(金)八女市立図書館本館2階にオープンしました。八女市には遺族から1万2千余点の資料等が寄贈されており、それらを再整理し、「山本健吉夢中落花文庫」を改名、新装開館したものです。現在、写真や直筆の原稿、写真、愛用品など110点を展示しています。夫妻がともに展示されている資料室は全国でここだけであり、石橋秀野の再評価につながることも期待されています。



(上) 昭和63年4月に島原にて撮影 (下・左) 石橋秀野の資料 (下・右) 健吉愛用の品々

さだまさしさんと石橋安見さんが資料室を見学

10月13日(祝)コンサートのため八女市を訪れたさだまさしさんと、山本健吉さんの長女・石橋安見さんは山本健吉資料室を見学しました。懐かしそうに資料に見入る二人。さださんは「石橋秀野という素晴らしい俳人の再評価につながることを期待します」と開館を祝いました。

安見さんは「今にも父が出てくるよう。27年間の歳月があったという間に縮まった感じがします。今回まさしさんも一緒に来てくれたことを、父はとても喜んでくれると思います。島崎藤村の『血につながるふるさと』、心につながるふるさと……の言葉を思い出しました」と語りました。

八女をととても大切に思っていました

午前中、安見さんは石橋家の菩提寺となる無量寿院を訪れ墓参りをし、法要を済ませました。

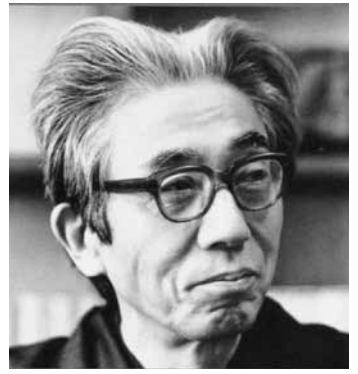
「八女の皆さんにはお世話に

三田村市長の案内で資料室を見学するさださんと安見さん



なり大変感謝しています」と安見さん。石橋家と八女のつながりについて次のように語っていただきました。

「石橋家は清和源氏の血筋を引く肥前出身の武士で、天正年間に星野村に住み代々医者をしていました。父健吉も、健吉の祖父の石橋養元が生きていたころはよく八女に遊びに来ていたそうです。健吉の父・忍月は、八女のほかに家を建てなかつた。『将来隠居する時は八女に帰ってくるつもりだったのだろう』と父は言っていました。父も先祖伝来の土地をととても大事に思っていました。『お茶は八女茶が一番よい』と常々言っていました。八女をととても大切に思っていました」



やまもと けんきち
山本 健吉

明治40年(1907)～昭和63年(1988)

文芸評論家。石橋忍月(八女市黒木町出身)の三男として長崎市に生まれました。本名は石橋貞吉。大正13年長崎県立長崎中学校より慶應義塾大学文科予科に入学し、2年間英文学者で詩人の西脇順三郎に師事。昭和3年文学部国文学科に進学し、折口信夫に師事。日本文学史・芸能史に目を向ける契機となりました。昭和4年、文化学院在学中の秀野と学生結婚。昭和6年大学を卒業後、改造社に入社。雑誌「俳句研究」に携わり、俳句批評に精進するようになりました。戦中から戦後にかけて、京都日日新聞社文化部長や角川書店勤務を経て、昭和30年『芭蕉』で新潮社文学賞を受賞。翌31年『古典と現代文学』で読売文学賞を受賞するなど、批評家としての地位を確立。その後も古典文学に関する優れた評論を発表し、昭和58年文化勲章受章。国文学の豊かな素養をもつ数少ない評論家として、古典から現代まで鋭い評論活動を展開しました。俳句の研究でも知られています。昭和63年5月7日死去。81歳。『浄土宗若泰山光明寺無量寿院』(八女市本町)の「石橋氏累代之墓」に眠ります。



いしばし ひでの
石橋 秀野

明治42年(1909)～昭和22年(1947)

俳人。父・藪楢太郎、母由栄の四女として奈良県山辺郡二階堂村(現・天理市)に生まれました。奈良県師範学校附属小学校を卒業後、家族とともに上京。

文化学院中学部に入学。学監与謝野晶子に短歌を、高浜虚子に俳句を学びました。昭和4年慶應義塾大学生石橋貞吉(山本健吉)と学生結婚。家庭の事情により同学院を自主退学します。昭和13年頃から本格的な句作に精進。その後俳誌「鶴」を代表する女流俳人として活躍します。

昭和17年長女安見誕生。昭和20年夫が島根新聞社勤務となり松江に移住。翌21年夫が京都日日新聞社論説委員となったため京都に転居。その後肺結核と腎臓病を病み、昭和22年9月26日国立宇陀野療養所にて逝去。38歳。上記の墓に眠ります。

没後、昭和23年第1回川端茅舎賞(現代俳句協会賞)を受賞。翌24年、夫健吉により句文集『櫻濃く』が発刊。平成22年長女安見(山本安見子)により『石橋秀野の一〇〇句を読む』が発刊。



下木家
住家
「堺屋」

山本健吉・石橋秀野夫婦句碑

平成11年5月7日健吉の祥月命日に除幕建立(山本健吉・石橋秀野句碑建設委員会)会長・今里允昭)されました。碑文はともに二人の絶句で代表作。秀野の句は直筆、健吉の句も原稿等から二字ずつ選び出されています。夫婦句碑ということで、桜御影石を同じ大きさで真つ二つに割り、二つの石をかみ合わせています。

こぶし咲く 昨日の今日となりしかな 健吉
蝉時雨 児は擔送車に追ひつけず 秀野

ふるさとを愛した石橋忍月

館の
「石橋忍月
文学資料館」



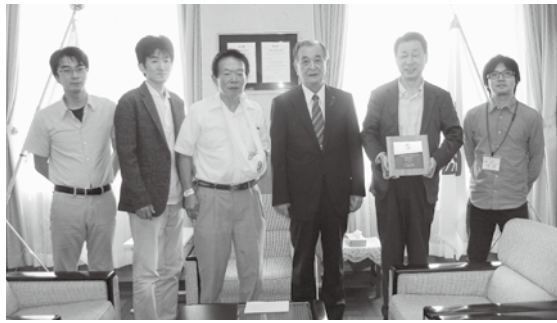
いしばし にんげつ
石橋 忍月
(1865～1926)

文芸評論家であり山本健吉の父・石橋忍月(本名・友吉)は黒木町湯辺田に生れ、黒木小学校で学びました。のちに福島町(八女市)の叔父石橋養元(眼科医)の養子となります。帝国大学生の時に、森鷗外の小説『舞姫』に厳しい批評を展開しました。その後、二葉亭四迷や坪内逍遙といった明治の文豪たちの文芸評論を新聞雑誌で展開し、当時の文壇に大きな影響を与えました。山本健吉は、『石橋忍月に関する二章』で次のように述べています。

「忍月は、湯辺田を一生なつかしがっていた。明治の初年に彼は湯辺田から黒木町の学校に通った。その祇園神社の藤を『予が幼少時代の知己』と言っている。また子どもの頃矢部川の水に潜って鮎を捕まえたことを語っている。日田の三隅川、人吉の球磨川と並べて、彼は矢部川を誇っているのである」



忍月の生家は「学びの館(黒木町)」に「石橋忍月文学資料館」として移築されています。



市長に報告する団体代表者の皆さん

八女福島地区のまちづくり くりり団体が「サントリー 地域文化賞」

地域文化の発展に貢献した個人や団体に贈られる「第36回サントリー地域文化賞」に八女福島のまちづくり団体が選ばれました。八女福島地区のまちづくり団体は、地域の文化遺産である町家を一軒でも多く残すため、独自のファンドシステムで保存・再生し、暮らしの中で活用されている点が評価されたものです。



八女文化遺産再生プロジェクト

プロジェクトの主な構成団体(敬称略)
「まちや紳士録」製作委員会(代表・牛島幹) / NPO 法人八女町家再生応援団(副代表・北島力) / NPO 法人八女町並みデザイン研究会(理事長・中島孝行) / NPO 法人八女文化振興機構(理事長・高橋康太郎) / 八女福島白壁ギャラリー企画室(室長・許斐健一)

危機感から意識が高まる

八女福島地区は古くから交通や商工業の中心として、江戸末期から昭和の初め頃に建てられた伝統的町家が200軒以上あります。平成3年の台風により町家が大きな被害を受けたことにより、町並み保存へと住民の意識が高まりました。

住民有志により平成4年に「八女・本町筋を愛する会」が、平成5年には「八女ふるさと塾」が結成され、町家の保存活動やまちづくりに乗り出します。市は町家の修理等を支援するため平成5年に「街なみ環境整備事業」を導入。平成14年には国の「重要伝統的建造物群保存地区」の選定(全国61番目)を受けました。

空き家の修復、移住者の呼び込みの取り組み

町並み保存の機運が高まり、空き家再生・活用を目指した動きが始まります。平成12年、建築に携わる職人および建築士が技術面の向上と研究のために結成した「NPO 法人八女町並みデザイン研究会」、平成15年に市職員有志

八女町家ネットが第9回 JTB 交流文化賞を受賞。



地域活性化への取り組みが評価され平成26年2月、八女文化遺産保存・活用ネットワーク(通称・八女町家ネット)がJTB交流文化賞で優秀賞を受賞しました。20年

近く前から町並み保存運動が始まり、保存だけではなく新たな活用に取り組んできました。このたび保存運動に関わる人々の記録映画「まちや紳士録」を自主制作。地域の意気込みを保存し伝えようとする活動が評価されました。「まちや紳士録」は全国各地で公開されています。

による「NPO 法人八女町家再生応援団」が中心となり、「八女文化遺産再生プロジェクト」を開始。修復費の出資を募る独自の社会貢献ファンドシステムを作り、外部からの移住者と呼び込み活用するというユニークな町並み保存運動を行っています。

現在、福島地区への移住者は35世帯、入居希望者が絶えません。

活動の輪の広がりに期待

10月1日(水)、受賞報告にまちづくり団体の代表の皆さんが市役所を訪れました。三田村市長は「皆さんの長年の活動に感謝します。町並み保存は福島地区だけではなく、市全体としても価値ある活動です。この輪を広げていってください。期待しています」と激励しました。

「サントリー地域文化賞」の受賞を受けて

八女文化遺産再生プロジェクト構成団体 同

八女福島では、先人の知恵と努力の中で継承されてきた歴史的町並みを活かしたまちづくりを展開するため、様々な市民団体と行政がそれぞれの役割を意識しながら協働の取り組みを積み上げて20年が経過し、町並みが少しずつよみがえりにぎわいを取り戻しつつあります。

一方で、少子・高齢の深刻化による空き家の増加とコミュニティの担い手不足、社会構造の激変に伴う建築文化の変化により伝統的技術を担う大工や左官等の職人が減少するなど、厳しい現実が直面しています。サントリー地域文化賞の受賞を契機に、日本の伝統文化を後世に継承するまちづくりをさらに発展させたことと決意を新たにしています。



学生のとときのフィールドワークで、農山村地域の風景の美しさや人の優しさ、食べ物のおいしさに心を動かされました。矢部村の素晴らしい自然や文化を肌で感じながら地域貢献できればと思っております。今は、お菓子のパッケージデザインなどの食に関する地域振興のサポートをしています。一つ一つ手作りにしてある特産品を、来客時や土産を渡す際に地元や縁のある方が八女や矢部のことを語りたくなるように包みたいと思っています。

商品化のお仕事が一段落したら、地元の方や来訪者が魅力的な風景や食べ物などをより一層味わえるように、空間デザインや商品ディスプレイ、

矢部地区

古賀菜津美さん

「ゆったりとした八女時間の中で食生活文化を共有・継承できる場をつくりたい」

観光交流事業のプランニングに携わることを検討中です。

すぐ傍にあるおいしい食材、その素材をよりおいしく調理できる方々がたくさんいる八女・矢部。これはとてもすてきで貴重なことですし、ぜひ見習いたいです。朝夕、自転車をこいでいますので、何か作るときや偶然見かけたときは「なっちゃん」と気軽に声をかけてください。どうぞよろしくお願いします。

We are

八女市地域おこし協力隊!

久留米・神奈川から八女市へ

vol.2



立花地区

田中臣仁朗さん

「八女の暮らしを満喫しながら地域のために頑張りたい」

祖父母の家が八女にあり、子どものころは夏休み等よく遊びに来ていました。自分のルーツがある八女市の地域おこしに携わりながら暮らしていきたいと思っています。

「道の駅たちばな」を活動拠点に、地域のイベントへの参加や自分の住んでいる地域活動のお手伝いをしています。「道の駅たちばな」で新たな商品開発や新しい取り組みのアイデアを考え実現していきたいです。趣味のキャン

八女市公式フェイスブック

『八女に住んだby協力隊』を開設

八女市の魅力伝えるために、地域おこし協力隊が日々の活動や暮らしの様子を移住者（生活者）目線で発信していきます。ずっと八女に暮らしてきた人にもあらためて八女のいいところに気づいてもらえるような内容にしていきますので、ご覧ください。

<https://ja-jp.facebook.com/yamenisunda>

プやサイクリングに加え、家庭菜園を始めたいと考えており、立花町での生活も満喫したいと思っています。

「道の駅たちばな」に居ることが多いので、見かけたら声をかけてください。名前がしんじろうなので、気軽に「じろう」と呼んでください。

八女市空き家等の適正管理に関する条例が施行されます

平成27年1月1日から

近年、八女市では、適正な管理をされず長期間放置されたままの空き家等が増加しています。老朽化した空き家等は、倒壊や瓦等の飛散、火災や犯罪の危険性があり、地域住民の安全で安心な生活を脅かし、地域の活力を低下させる原因ともなっています。空き家は今後も増加していくことが予想されるため、このような問題に対応するために「八女市空き家等の適正管理に関する条例」を制定し、必要な事項を定めました。この条例は平成27年1月1日から施行されます。

●問い合わせ 地域支援課 (☎23・1224)

条例ではこのようなことを定めています

■ 条例の目的

- 地域の生活環境の保全を旨とします。
- 安全で安心なまちづくりを推進します。
- 地域コミュニティの活性化に役立てます。

■ 相互の協力

市、空き家等の所有者等、市民、自治組織および市民活動団体等は、条例の目的を達成するために、それぞれの果たす責務や役割を理解して相互に協力します(上図参照)。

■ 「管理不全な状態」とは

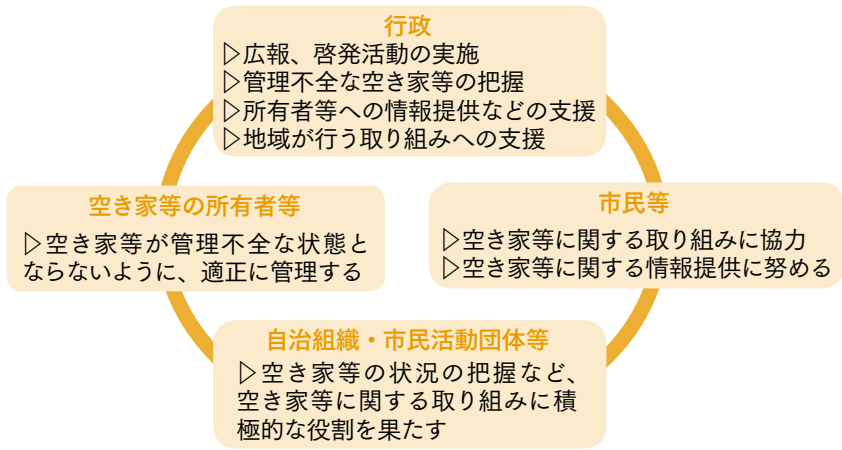
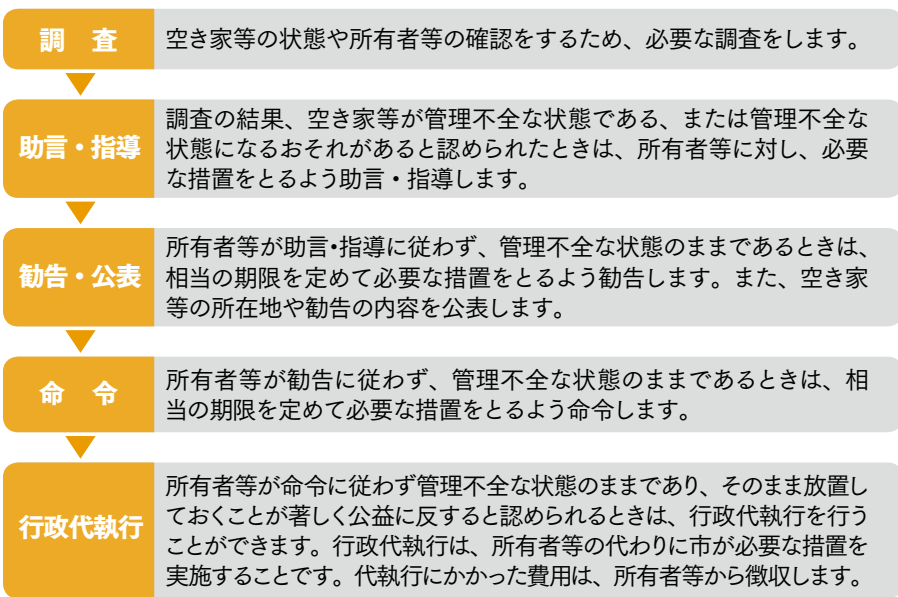
この条例で問題としている空き家等の「管理不全な状態」とは、次のような状態をい

ます。

- 老朽化や自然災害により、空き家等が倒壊したり、屋根や壁に使用された建築材料が飛散したりするおそれのある状態
- 空き家等に不特定多数の者が侵入することにより、火災や犯罪が誘発されるおそれのある状態
- 空き家等の敷地内の草木が繁茂することにより、周辺の生活環境に著しく害を及ぼすおそれのある状態

■ 管理不全な空き家があるときは

市民からの情報提供などにより、適正な管理がされていない空き家等があると認められたときは、市は調査をした上で所有者等に対して助言や指導をします。



「空き家バンク制度」 をご利用ください

【空き家バンク制度とは…】

「空き家」を有効活用し、定住促進による地域活性化を図る制度として、平成23年度にスタートした事業です。空き家バンクに「売りたい・貸したい空き家」を登録後、市のホームページ等で空き家情報を公開、市内外の「空き家を買いたい・借りたい方」に提供しています。

これまでは、中山間地域（旧町村エリア）の空き家を登録対象としていましたが、10月1日から八女市全域の空き家の登録が可能です。

【制度の利用方法】

「空き家をお持ちの方」「空き家をお探しの方」いずれも事前登録が必要です。

「空き家をお探しの方」には八女市民も含まれます（市内転居にも利用できます）。

空き家をお持ちの方
(物件の登録)

1 空き家登録の相談

空き家登録相談に応じます。

2 空き家の現地調査

建物や敷地の状態等を調査します。

3 物件登録

物件登録手続きを行います。

4 市のホームページ等で情報公開

ホームページ等で、物件の希望金額や設備・間取り・写真等の情報を公開します。

空き家をお探しの方
(利用の登録)

1 空き家バンク利用の相談

空き家情報等に係る相談に応じます。

2 利用登録

利用登録手続きを行います。

3 物件の問い合わせ

物件の現地見学等に応じます。

4 契約交渉申込

気に入った物件について、空き家の所有者等と契約交渉を行います。

契約交渉

※空き家バンク事業に協力する不動産業者が仲介します。※法定仲介手数料が発生します。

入居

※空き家改修費補助金制度有り(最大30万円)
これまで10数組の方が空き家バンク制度を活用して移住・定住されました。

移住定住相談専用ダイヤル

☎0943・24・8013(市長公室企画政策係内)

★受付時間=平日9時～16時30分

※お越しの際は必ず事前にお電話ください。

このほかに、管理不全な空き家等を原因として人の生命や財産に危険が急迫している場合に、その危険を避けるための必要最低限度の措置をとる「緊急安全措置」や、窓の閉鎖や草刈りをするにによって問題を改善することができる場合の「軽微な措置」の手続きについても定めています。

建物を所有・管理している皆さんへ

空き家の適正な管理は所有者や管理者の責任です

管理不全な空き家の発生を防ぎましょう

空き家が放置されて管理不全な状態になる原因には「建物が老朽化し活用できなくなる」「相続や登記が適切に行われず所有者等が不明になる」などがあります。居住・使用している段階から維持管理をきちんとして、現状に合わせて登記を変更したりするなど、管理不全な空き家の発生を防ぐ取り組みを進めておきましょう。

空き家を活用しましょう

使われなくなった空き家は、老朽化が早まります。また、地域に空き家が増えると、防犯・防災上の不安が生まれるほか、まちの活力の低下にもつながります。「八女市空き家バンク」に登録したり、地域活動に役立てる方法を話し合ったりするなど、空き家の活用に取り組みしましょう。

周囲に危険を及ぼさないよう管理しましょう

空き家を適正に管理しないと、瓦が落ちたり外壁が崩れたりして、隣近所や通行人に危険を及ぼします。また、雑草が繁茂して害虫が発生したり、開いたままの戸や窓から人が侵入して犯罪や放火を誘発したりするおそれもあります。そのような問題が起こらないよう、草刈りや危険箇所の修理、建物の解体などを行います。空き家等を管理不全な状態のまま放置しておくと、条例に基づいて指導などを受けることになります。

「明るい社会」を目指して

安全で安心して暮らすことのできる社会はすべての人の願いです。そうした社会を築くためには、罪を犯した人や非行歴のある少年が、再び犯罪や非行に走らず、社会の一員として立ち直ることができるようになることや、犯罪や非行のない地域社会を築いていくことが求められています。こうした罪を犯した人や非行歴のある少年を、健全な社会の一員として更生するように指導・援助することを更生保護と言います、その役割の一端を担っているのが保護司です。

今回は八女保護司会八女支部長の島本脩しまもと おさむさんに話を伺いました。

保護司の活動

八女市では現在31人（うち女性6人）の保護司が活動しています。保護司は法務大臣から委嘱を受けた非常勤の国家公務員で、ボランティアで活動をしています。保護司の活動は、罪を犯した人や非行歴のある少年と定期的に会って、社会の一員として立ち直るための指導や支援を行ったり、街頭での啓発活動を行っています。

以前は彼らが保護司の元を訪れることが、その人自身が罪を



八女保護司会八女支部長の島本脩さん

犯した人であると周囲にわかっってしまう恐れがあったため、どちらかといえばあまり表には立たず、静かに活動を行ってきた経緯がありました。しかし近年は、もっと表に立つて保護司の存在や活動を広く社会に知ってもらおうというところで、街頭での啓発活動等にも力を入れています。毎年7月には「社会を明るくする運動」犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域の「チャカラ」として商業施設を中心にチラシ等を配布して啓発を行い、またこの時期に開催している青少年弁論大会も、子どもたちの非行化を未然に防いだり、社会へ向けて発信する啓発の機会でもあります。

円滑な社会復帰のために

私たちが彼らと関わるのは、



「社会を明るくする運動」街頭啓発の様子

裁判で確定した刑期のうちの、仮釈放・仮退院や執行猶予期間等の社会の中で更生していく期間中です。その前に出所後の受け入れ先となる家庭や地域への事前調査や相談を行いながら、本人や家族にとってよりよい環境を整えるための下準備を行います。また期間中には月に2〜3回会って話をしたり、自宅を訪問して生活環境を確認しながら、更生のための指導や支援を行っています。

一番大切なのは相手との信頼関係を築くことです。何度も会ってお互いに色々な話をしながら、被害者の心情やこれまでの経験や踏まえた話をして反省を促したり、罪を犯してしまった背景や環境を把握し、彼らの考え方や生活環境について指導助言を行います。

中でも一番難しいのは就労支援です。彼らは十分に反省し、更生に向けて努力していても、社会の認識はまだまだ厳しいものがあります。また仕事をして自立した生活を行えなければ、どうしてもなくなって再び罪を犯してしまう可能性も少なくありません。そうならないようにするためにも、更生保護の活動を広く社会に知ってもらうための啓発活動は大変重要になります。

「明るい社会」を目指して

私たちは人との繋がりに生きてはいけません。罪を犯し、一度途切れてしまった人や地域との繋がりを、再び繋ぎ直していくことが私たちの使命です。期間中に対話を重ね、やがて社会に戻っていった彼らの頑張っている姿や話を聞くと、この仕事をやっていてよかったという喜びを感じます。

一度の過ちを受け入れられない社会より、過ちを犯しても、再び立ち直り受け入れることができる社会は、罪を犯してしまった人だけではなく、私たち一人ひとりにとつても、優しく住みよい社会ではないでしょうか。八女市がもっと「明るい社会」になるために、私たちはこれからも活動を続けていきます。

平成27年度

保育所等の入所

申し込みについて



来月4月1日からの「保育所等の入所申し込み」を下記の日程で受け付けます。

入所申し込みは、事前に必要事項を記入した提出書類をお持ちのうえ、在園児・新入園児を問わず第1希望の保育所等の受付日に、各会場にお願います。また、※印のついた保育所等へ初めて申し込みをされる場合は、お子さまの面接も行いますのでお子さまと一緒にお願いします。

なお、申し込みに必要な書類は、市役所子育て支援課、各支所および各保育所に、また幼稚園と認定こども園の入園願書等は各園に準備しています。都合により下記の日程で手続きができない人は、市役所子育て支援課または各支所へお越しください。

- 手続きに必要なもの
- ① 入所申込書（入園願書） ② 支給認定申請書 ③ 勤務証明書（必要な人のみ） ④ 印鑑

● 保育所等入所に関する問い合わせ

▽八女市役所子育て支援課こども保育係（☎23・1351）

▽黒木総合支所市民生活福祉課生活福祉係（☎42・1114）

▽幼稚園または認定こども園は直接、園へお問い合わせください。

保育所等の入所申し込み受付日程（受付日欄の○印が受付日です）

施設名	受付会場	受付日					受付時間
		11/10(月)	11/11(火)	11/12(水)	11/13(木)	11/14(金)	
福島保育所 ※	福島保育所	○	○	○	○		9:00～18:30
八幡保育所 ※	八幡保育所	○	○				9:00～18:30
長峰保育所 ※	長峰保育所	○	○	○	○		9:00～18:30
光友保育所 ※	光友保育所	○	○				9:00～18:30
北山保育所 ※	北山保育所	○	○				9:00～18:30
三河保育所 ※	三河保育所					○	9:00～18:30
八女中央保育園 ※	八女中央保育園	○					9:00～18:30
岡山保育園 ※	岡山保育園		○				9:00～18:30
忠見保育園 ※	忠見保育園			○			9:00～18:30
上妻保育園 ※	上妻保育園				○		9:00～18:30
川崎保育園 ※	川崎保育園					○	9:00～17:00
辺春保育園 ※	辺春保育園	○	○	○	○	○	9:00～17:00
本分保育園		○	○	○			9:00～18:30
黒木保育園	黒木総合支所 市民生活福祉課 生活福祉係 1番窓口	○	○	○			9:00～18:30
木屋保育所		○	○	○			9:00～18:30
あゆみ保育園		○	○	○			9:00～18:30
大淵保育園		○	○	○			9:00～18:30
星野保育所星光園 ※	星野保育所	○	○	○	○	○	9:00～17:00
矢部保育園 ※	矢部保育園	○	○	○	○	○	9:00～17:00
福島幼稚園	福島幼稚園						11月1日(土) 8:00～17:30
認定こども園 さいしょうじ幼稚園	さいしょうじ幼稚園						11月1日(土) 9:00～17:00
認定こども園 白百合幼稚園	白百合幼稚園						11月1日(土) 13:00～15:00
認定こども園つくし	つくし幼稚園						11月4日(火)～7日(金) 10:00～17:30
認定こども園 ふじなみ幼稚園	ふじなみ幼稚園						11月1日(土) 9:00～15:00

- 平成26年度末で保育所西光園は閉園となります。
- 平成27年度から三河保育所、平成28年度から八幡および光友保育所は私立保育園となります。

mayor's column

市長コラム⑭ 八女の魅力づくり



▽八女産材を使用して新築された木造住宅への補助金制度を利用して、市外から転入される世帯が大幅に増えています。消費税改定の影響も考えられますが、八女市が安住の地に選ばれていることをうれしく思います。▽会合のあいさつなど機会のあるごとに紹介しているのは、市内の地域資源の豊富さと人材の魅力です。それは、長い年月を経て積み上げられた自然や歴史・文化の魅力であり、それらを懸命に守り続ける人の姿です。▽地域の魅力づくりには、話題性に富んだ事業を利用した派手な仕掛けも効果的ですが、足元を見つめ直して、そこに重ねられた魅力を磨きあげるやり方も大切だと考えています。▽八女の魅力は決して急須を揺すらず、やや温めのお湯に旨味が溶けだすのをじっくり待つような八女茶の楽しみ方に似ています。それは外見重視の一過性のものでなく、住み続けるほどにそのよさが分かる魅力です。

三日村 統之

修験者の峰入

修験道

修験といえは山伏が浮かびます。山で修行を積み、力を得てまじないをするのが修験道で、奈良時代の役小角が始祖、山伏は修行者です。

小角は大和・摂津の葛城山に住み、呪力で評判になりました。しかし、ねたみを受け「まじないで人をだます」と大臣藤原氏に言いつけられ、伊豆に流されました。

弟子たちは全国に散り、修験道を広めたのです。一人が豊後に上陸、釈迦岳（山名は後年付いた）から矢部村に向けて下りる途中、師と修行した地そっくりの場所を見つけ、役小角を祀って励みました。「小角を祀った所」は「小角床の足掛け地蔵」として、信仰を集めています。杣の里の手前、足腰に御利益ある地蔵です。



コズミトコの足掛け地蔵

山伏の峰入

修行のため山に入ることを「峰入」といいます。阿蘇山の西厳殿寺を発した峰入りの山伏一行は、山鹿を抜け鹿北の岩野村に入り、鎮観坊の墓に向かいます。坊は山伏修行の途中で流行病にかかり、厳しい定めのため頭だけ出してこの地に埋められました。照りつける日の下で「水をくれ、水を……。」と叫びますが、伝染と苦しみが顔面を恐れて村人は近づけません。「ここには水がないのか。みな耳が聞こえないのか」と叫び息絶えました。今は古い墓となり、「耳の神様」として信仰を集めているそうです。山伏たちはこの墓に、長く厳しい峰入の安全と修行の成就を祈ったのです。百人を越える一行もあったそうです。

黒木・星野・矢部へ

一行は熊本藩の往来手形を受け、陣床峠から柳川藩へ入ります。途中にあった念力で曲げたという「ねじれ松」は、落雷で枯れ今はありません。一行は、黒木町神露淵村や田代村で、酒・茶の接待を受けました。さらに下って御境川（今の矢部川）に出て本分橋を渡る時、そこまでの案内人が交代しました。岩野村から久留米藩本分村庄屋あて、すでに手紙が届いていました。この行は、多くの人々が支える公的行事でもあったのです。寛政12年（1880）の「阿蘇大峰記録」には「本分で二泊後黒木津江神社にて峰入」、

津江神社略記には「本分村へ七日旅宿り後立つ」とあるそうです。本分村の北方の丘に、この行と関係あるという「大念塚」という地があります。

津江神社から大藤のある祇園宮に参り、高峰の峠に向かいました。椿原天満宮の西奥には「うそん谷」と呼ぶ地があり、そこに建つ宇曾宮で修行をしました。そして、峠を越えた星野谷で村庄屋の出迎えを受けました。星野には、池の山・祓川・室山・滝の脇など修行地が7、8か所あり、5、6日励みました。庄屋の指示で小屋を作った跡が「宿の谷」だそうです。星野から前津江への道に小畑峠があり、国境を北に進めば矢部村から前津江村に抜ける山越え林道で、連絡を受けた矢部村の案内人が待つており、御前岳へと先導しました。

一行は、御前岳山頂や津江方面に下った岩屋に泊まり修行に励みました。岩屋には祈り岩と呼ばれる塔があったようで、石仏は近年も見られなくなったそうです。御前岳から尾根伝いに進むと釈迦岳の山頂に達します。あの修験者一行が釈迦の石像を据えたことが山名の由来です。「元禄五年（1692）申6月7日 那羅延坊蒙辨（阿蘇3坊の一つで、内の牧打越神社の前身）」と刻してあります。明治元年、神仏分離令による仏教排斥運動で釈迦像は消えましたが、大正15年頂上近くの落ち葉の中に見出され、

山頂にもどりました。今は、新しい釈迦像と二体で登頂者を迎えています。修験の一行は、釈迦岳から谷に下りて、矢部村竹原に向かいました。矢部村内のどこで修行したか不明ですが、村は阿蘇修験者などの重要な通り道であったことはまちがいありません。先に述べたコズミトコの足掛け地蔵は、修験者にとつて大切な修行地だったかもしれません。肥後との国境で案内人が交代、相良村を過ぎ阿蘇山へと行は続きました。1862年の記録によると、35日かけて59里半（238キ）を歩いたそうで、矢部村だけでも20里半（82キ）、熊本藩・柳川藩・久留米藩・天領の一部を通る、大変面倒な行でもあったそうです。

南北朝時代良成親王は八代から矢部高屋城を経て、大杣（今の御側）に入られました。遠い昔、忠臣が修験者として山深い安全な地を求め歩いたことでしょうか。親王は「父良遠の治療を医に委せず、椿原の僧に頼むべし」と五條頼治公あてに書を出されました。修験者一行の修行地である椿原うそん谷のことかもしれません。八女津媛神社には樹齢600年の権現杉があります。南北朝時代に修験者たちが訪れ、植えたとも想像できます。日向神・八女津媛・良成親王、そして修験道のパワーが矢部村でお待ちしています。

（矢部村 山口久幸）

【参考】矢部村誌・星野村誌

笠原まつり だっでん祭

11/16 (日)
9:00 ~ 16:00

会場 旧笠原小学校



正しい跡地の使い方
本日開校、笠原学園
年に一度の大文化祭

- 【イベント】風船飛ばし/藤山祥太/和太鼓 童衆
/羅生門克日郎/スタジオ color/ニューチルドレンズ/
NKD/フラダンス ホクラニ箱嶋/日向ひよっこ/
Ka.PTA/人形浄瑠璃(黒木小) など
- 【出店】だご汁/いもまんじゅう/ヤマメ塩焼き
/山太郎蟹/やきとり/おでん/八女茶販売など
- 【問い合わせ】笠原まつり実行委員会・日野さん
(☎090・4345・1571)

八女の魅力再発見 八女よかとこツアー



黒木
ツアー

平成22年度に合併し広域となった市内には、まだまだ知らない「よかとこ」がたくさんあります。地元自慢の「うまかもん」や、知っているようで知らない「よかとこ」を皆さんでめぐってみませんか？

- 今回は、黒木エリアを企画しました。他のエリアツアーも今後企画していきます。
- 対象者 八女エリアにお住まいの人
 - 場所 〓くつろぎの森グリーンピア八女、霊巖寺、学びの館など
 - 実施日 〓11月20日(木)
 - 集合場所 〓観光物産館ときめき駐車場
 - 集合時間 〓8時45分
 - 参加料 〓3000円(昼食、木工体験料含む)
 - 申込・問い合わせ 〓黒木総合支所産業経済課(☎42-1115)
 - 募集人員 〓20人
 - 解散時間 〓16時30分(予定)
- ※定員になり次第締め切ります。詳細は問い合わせ先の窓口チラシを設置しています。

キリトリセン

郵便はがき

料金受取人払



8 3 4 - 8 7 9 0

差出有効期限
平成27年6月
30日まで

〈受取人〉

八女市本町647番地

(切手不用)

八女市長行



8 3 4 8 7 9 0

7

キリトリセン

《回答が必要な方は、住所・氏名・電話番号の記入をお願いします。》

ご住所		
(フリガナ) お名前		
年齢	歳 (性別) 男・女	☎

あなたの声を届けてください！

皆さんが日ごろ八女市に対して思っていることを、市長に届けてください。将来の八女市づくりのため問題点は改善し、建設的な内容については実現に向けて努力してまいります。なお、市の事務と関係のないものについては回答しておりませんので、ご了承ください。

○市長室直通ファクスも市内からは無料でご利用いただけます。
0120・24・4554 (フリーダイヤル)

ふるさと支援寄附のお礼(敬称略)

【地場産品発掘・ブランド化事業】

▽遠藤貴雄(神奈川県横浜市) ▽斎藤淳一(神奈川県藤沢市) ▽森脇宏文(鳥取県米子市) ▽匿名16件

【未来を担う子どもの教育及び少子化対策事業】

▽黒木國泰(宮崎県宮崎市) ▽野崎千尋(筑紫野市)
▽後藤俊郎(愛知県名古屋) ▽内山重夫(久留米市)
▽坂本伸(千葉県市川市) ▽石田晃大(埼玉県上尾市)
▽和田佳宏(香川県高松市) ▽匿名22件

【観光振興・交流事業】

▽高本峯男(大阪府大阪市) ▽匿名3件

【環境保全事業】

▽江口真一郎(東京都渋谷区) ▽藤本昌宏(千葉県浦安市)
▽齋藤誠(神奈川県横浜市) ▽匿名13件

【その他市長が必要と認める特定の事業】

▽田所祐一(茨城県水戸市) ▽平馬武範(福井県福井市)
▽工藤謙治(大阪府吹田市) ▽大槻芳史(東京都府中市)
▽匿名34件

●9月末現在累計額=3289万8905円

寄附のお礼(敬称略)

- 福島小学校へ
- ▽百福会(福島小学校百周年職員の会) = ドームテント2張り

11/15(土)
~16(日)
10時~

八女矢部まつり

会場=矢部川源流公園

- 日時=11月15日(土)・16日(日)10時~
- 場所=矢部川源流公園
- 問い合わせ=矢部支所建設経済課
(☎47・3111)



「八女矢部まつり」は今年30回目を迎えます。矢部村で採れた新鮮野菜の販売、特産物が当たる入場者抽選（空くじなし）、お米や高級茶があたる宝さがし、コケッコ競鶏レースなど楽しいイベントが盛りだくさんです。また、5年に1度の公開となる地元氏子による「八女津媛神社の浮立」を会場披露します。

奥八女の秋、楽しさいっぱいの八女矢部まつりに、ぜひお越しください。
八女矢部まつり実行委員会



心に響く、悠久の舞

5年に一度の公開

福岡県指定無形民俗文化財 八女津媛神社の浮立公開

- 期日=11月16日(日)
- 時間・場所=9時30分~道囃子 / 10時~八女津媛神社境内奉納・公開 / 13時~八女矢部まつり会場公開

八女津媛神社は、八女地方の古い地主神と考えられ、八女の名の起りこりとされています。八女津媛神社の浮立は、神社に五穀豊穡や無病息災を祈願し、その御願成就に奉納する行事で、県内でも最大規模の祭りとして筑後地方各地に伝わる風流の集大成された形と考えられています。

- 問い合わせ=浮立保存会・栗原さん(☎47・2121)または矢部支所総務課(☎47・3111)

【送迎バスのご案内】

八女津媛神社には駐車場はありません。見学を希望される人は、八女矢部まつり会場から無料で送迎しますので、同祭り駐車場にお集まりください。

▽運行時間=9時~13時

キリトリセン

ご意見記入欄

(八女市広報H 26.11)

あなたの声をお待ちしています

- ▽市政に対するご意見や苦情、疑問など、あなたの「声」をお待ちしています。建設的なご意見やご提案については、市長や担当課などから直接ご本人へ回答していますので、住所・氏名・電話番号等連絡先の記入をお願いします。次のいずれかに該当するものについては、対応できない場合があります。
- ▽特定の個人を誹謗、中傷、非難するなどしているもの
- ▽公の秩序または善良の風俗に反するもの
- ▽明らかに営利を目的としているもの
- ▽趣旨が不明確もしくは不明なもの
- ▽その他、市が不相当と判断するもの

キリトリセン

ご記入をお願いします

平成25年4月から、右のとおり市長へのはがきの様式を一部変更しています。これは、投稿いただいた人の個人情報保護の観点により、「1」「2」について投稿者ご自身に記入の協力をお願いしているものです。

掲載可または公開可に○を付けられた場合においても、投稿者等個人が特定されることのないよう個人情報には十分注意し、広報紙・ホームページに掲載し、公開請求があった場合は情報公開します。○のご記入がない場合は掲載不可・公開不可と判断します。

- 問い合わせ=市長公室秘書広報係(☎23・1110)

1. 広報紙またはホームページ (掲載可・掲載不可)

どちらかに○を付けてください。「掲載可」に○を付けられた場合は、個人が特定されないよう個人情報の取り扱いに十分注意し、広報紙または八女市ホームページに掲載する場合があります。ご記入のない場合は掲載不可と判断します。

2. 情報公開 (公開可・公開不可)

どちらかに○を付けてください。「公開可」に○を付けられた場合は、八女市情報公開条例の規定により公開請求があった場合は公開の対象となる場合があります(個人情報を除く)。ご記入のない場合は、公開不可と判断します。



『四季の会』は和菓子の他にもようかん、玉露ジャムなども人気です。『おばしゃんの店清流』では新鮮野菜とともに露のつくだに、干し竹の子と椎茸のつくだになどふるさとの味も販売しています。

茶の文化館でお茶と一緒に出来る和菓子などを手がける『手作り和菓子工房 四季の会』代表の石橋道子さん。星野村の豊かな自然と人情を訪れる人に伝える『茶のくにもてなしびと』でもあります。『四季の会』は今から20年ほど前、村役場が茶の文化館開館に向けて菓子作り研修会を開催した時に集まった6人で結成。当初は趣味の範囲だった菓子づくりも研究を重ね、今では本職となりました。

みんなが輝きながら
ふるさと八女を元気に



『手作り和菓子工房四季の会』代表

石橋道子さん(星野)

星野生まれの星野育ち。星野村の茶道団体『朝霧会』の一員。「朝霧会は15年ほど前から韓国光州市の茶道団体とお茶の交流をしています。韓国の方はすごく歓迎してくださり、おもてなしを大事にされます。年をとるということは、経験を重ねること。これからも新しいことにチャレンジしていきたいです」

「九州北部豪雨災害からお客様の足が遠のいている現状ですが、清流のおばしゃんたちは『おはようございます』『こんにちは』と声をかけ、お茶を接待しながら『いつまでも元氣なふるさとを』の思いを込めておもてなしに心がけています。合併していろんな情報が入ってくるようになりました。市内各地の女性グループとのつながりもでき、多くの出会いがありました。地元が好きだからこそ発信できる。八女のおばしゃんたちみんなが輝き切琢磨しながら、『ふるさと八女』を元氣にしていきたいですね」

11月 ※11月の館内整理日は28日(金)※
《本館の休館日》※月曜、館内整理日
10月、17月、28(金)

《上陽・立花・矢部・星野分館の休館日》
※月曜・祝・休日、館内整理日
3(祝)、10月、17月、23(祝)、24(休)、28(金)

《黒木分館の休館日》※火曜・祝・休日、館内整理日
3(祝)、4(火)、11(火)、18(火)、23(祝)、24(休)、25(火)、28(金)

11月の図書館だより

八女市立図書館(本館) ☎22・2504
※本館の開館時間＝平日10時～20時
土日祝10時～18時

上陽分館 ☎54・3131 矢部分館 ☎47・2258
黒木分館 ☎42・0400 星野分館 ☎52・3120
立花分館 ☎37・1522
※分館の開館時間＝9時～17時30分
ホームページ <http://www.library.yame.fukuoka.jp>



11月のよみきかせ
幼児～小学生の皆さん対象です♪

- ♥本館＝1日、8日、15日、22日、29日 おはなしコーナー
※いずれも土曜14時～
- ♥黒木分館＝8日(土)10時30分～
おはなしコーナー
※22日は小学生対象です!

11月のあかちゃんよみきかせ
0～2歳くらいの赤ちゃん対象です♪

- ♥本館＝15日(土)11時～2階研修室
- ♥黒木分館＝27日(木)10時30分～
おはなしコーナー

- ★矢部まつい
●日時 11月16日(日)10時～15時
- 場所 矢部第一運動場
- 内容 移動図書館「ゆめみらい号」、ブックリサイクル、矢部村の野鳥写
- ★第5回星野村夢のフェスティバル
●日時 11月23日(祝)13時30分～15時
- 場所 星野分館(星野地域活性化施設内)
- 内容 劇団道化 おはなし・おはなし「まっくらネリノ」「おじさんのかさ」児童のみなさんによるおはなしひろば、大型絵本
- 問い合わせ 星野分館 ☎52・3120
- ※詳しい内容については図書館のホームページをご覧ください。

- ★ゆめみらい図書館ピクニック
●日時 11月2日(日)10時～15時
- 場所 「八女くろぎふるさと祭り」駅前イベント広場
- 内容 移動図書館「ゆめみらい号」、ブックリサイクル、布の絵本展示等
- 問い合わせ 黒木分館 ☎42・0400
- ★分館で楽しい行事がたくさんあるよ♪
真展示、よみきかせ等
- 問い合わせ 矢部分館 ☎47・2258

めぐる めぐる 本の世界
2014・第68回読書週間
10/27～11/9

◎秋の読書週間
10月27日(日)～11月9日(日)

秋の読書週間にちなんで、マナーアップキャンペーンを10月25日(土)～11月9日(日)まで実施します。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

八女市立図書館本館の「山本健吉氏縁のある方々の書籍コーナー」では、石橋忍月・石橋秀野・山本安見子の本を紹介しています。ご利用ください。

歌人菊池剣の遺徳をしのぶ冬山忌

歌人菊池剣の遺徳をしのぶ冬山忌が9月28日(日)、築山公園入口にある歌碑前で行われました。菊池剣はやまなみ短歌会創始者。黒木町をこよなく愛し、歌碑には黒木の町並みを詠んだ『冬山にさへぎられたる朝日影いま街並みの一角にさす』という歌が刻まれています。

式典には、遺族のほかやまなみ短歌会など町内外から出席、歌碑に花

茶、酒などがささげられました。遺族代表として

長女の高崎珠美さんがあいさつ。家庭人としての父を知ってほしいと、幼いころ書道の練習に上手になるまで付き合ってくれたエピソードを紹介し「一緒に練習した書が入選すると喜んでくれ、稽古の時間が父を独り占めできると報われることが分かり、私の人生の指針となりました」と話しました。



菊池剣の歌碑に献酒しました

第69回国民体育大会に出場

第69回国民体育大会「長崎がんばらば国体2014」に走り高跳びで出場する祐誠高校2年の小柳翔さん(黒木町笠原)が10月1日(水)、市役所を訪れました。小柳さんは、黒木中学校3年時にも全日本中学校陸上選手権大会に出場しています。

三田村市長は「中学生のと

走り高跳びに福岡県から唯一出場する小柳さん

きから頑張ってもらっていることをうれしく思います。今回の出場は素晴らしいこと、ベストを尽くして頑張ってください」と激励。小柳さんは「高校生活初めての全国大会。リラックスして楽しんで、いい経験になるように精いっぱい頑張ります」と大会に向けて抱負を語りました。

地域の文化財を地元の子どもが守る

三河小学校5年生は八女市内の文化財を学習していると、校区内に文化勲章受章者の坂本繁二郎画伯のアトリエ跡地があることを知りました。11月3日の坂本画伯の帰居祭の前にした10月7日(火)、緒玉地区にあるアトリエ跡地の美化作業をしました。

5年生児童全員と職員が一生懸命に草取りしたので園内が見違えるほどきれいになりました。坂本画伯は、八女の美しい自然のある跡地に帰ってこられると思いました。



れんがの残る跡地を草取りする三河小学校児童

第33回人形原句碑記念句会の入選作品を紹介します

「向井去来、野田成亮顕彰碑」の建立を記念した句会「人形原句碑記念句会」が9月21日(日)、岩戸山古墳周辺で行われました。その入選作品をご紹介します(敬称略)。

堤呼秋選

去来句碑磨きあぐるや水の秋

松延みさと

嘶けよ石馬も天の高ければ

平島景子

去来句碑薄れし文字に秋日差す

城戸和子

吹く風や人形原に秋深し

鍋島翔山

赤米の穂垂るる田面風わたる

中川原篤子

吉泉守峰選

弥生期の耳環に見入る秋灯下

城戸和子

偲びてや磐井の御霊蟬しぐれ

鍋島翔山

佳作

石人に神の田の出来見えかくれ

大坪延子

結界の闇より忽と昼ち、ろ

牛島景子

走り根の木の実溜りを拾ひけり

野中平

福岡県消防操法大会に出場!

福岡県消防操法大会が9月7日(日)、福岡県消防学校で開催されました。八女・立花合同大会の優勝チームである八女市消防団第2分団(長峰)が自動車ポンプの部に、東八女支部大会の優勝チームである矢部消防団が小型ポンプの部にそれぞれ八女市代表として出場しました。

消防操法は、規律、節度、士気、敏しよ性、安全性ほか要領を厳しく遵守しながら、放水によって火点を倒すまでの時間を競う消防団員としての総合的で高い技術が要求される競技です。2年前の前回大会は、市の操法大会当日に発生した九

州北部豪雨により県大会出場を辞退せざるを得ませんでした。選手は連日連夜に及ぶ訓練、他分団員は準備やホース巻き等のサポートを全力で行い、2年越しの思いを操法に託すべく消防団員が一丸となり大会に臨みました。

結果は惜しくも全国大会出場を手にすることはできませんでしたが、訓練を通じてた団員の結束力と選手たちが大舞台で披露した操法は、地域の安全安心、防災力向上を期待させるものでした。県大会出場に際し、たくさんの方より激励をいただきました、ありがとうございます。



八女市消防団第2分団による自動車ポンプ操法



矢部消防団による小型ポンプ操法



手作りの望遠鏡を作る講座参加者

星のソムリエを目指す

「星野村・星のソムリエ講座」が9月27日(出)・28日(日)、星野村の池の山荘で行われました。「星のソムリエ」とは、山形大学から提唱され、全国に広がった星空に関する資格。宇宙科学や星座の文化、星の観測方法などを広く学び、サイエンスコミュニケーターとしての「星のソムリエ」を養成します。

九州で星野村が最初に取り組みを始めた「星のソムリエ講座」。今までに15人の星空案内人(星のソムリエ)と65人の準案内人(準ソムリエ)を送り出しています。受講した32人は、真剣な表情で講義を聞きながら取り組んでいました。今期は11月と3月に残りの講義が実施される予定です。

SPORTS

第4回八女市長旗ナイター野球大会

期日 8月17日(日)～9月20日(土)
会場 立山球場
優勝 WINS
2位 ガバ・マッチョ



ガバ・マッチョを下して優勝したWINS

第57回福岡県民体育大会【秋季大会】

期日 9月20日(土)・21日(日)
(敬称略)

剣道競技

- 団体青年女子の部Ⅱ優勝
- 団体青年男子の部Ⅲ3位
- 団体一般男子の部Ⅱ準優勝

※優勝した青年女子は11月7日から東京で開催される第63回全国青年大会に出場します。

陸上競技

- 青年男子 400m 優勝 安德裕介
- 壮年女子 砲丸投40代 優勝 星野知子
- 砲丸投50代 2位 池上由恵
- 壮年男子 砲丸投60代 3位 川口博文

八女市立花町行政区対抗野球大会

期日 9月14日(日)～18日(木)
会場 立花グラウンド

- 優勝 原島クラブ 2位 辺春
- 3位 谷川クラブ、遠久谷・出ノ原・多々良
- 【個人表彰】 (敬称略)
最優秀賞 原太一(原島クラブ)
優秀賞 原博文(辺春)
敢闘賞 杉村亮輔(谷川クラブ)・江崎拓也(遠久谷・出ノ原・多々良)



優勝した原島クラブ

奥八女に残る南朝の歴史文化を今に伝える

家旗祭 五條御祭



橋本家の皆さんによる公卿謡の奉納



五條元滋さんが金鳥の御旗など宝物を前に説明

地

元住民による五條家宝物顕彰会主催の「五條家御旗祭」が9月23日(祝)、黒木町大淵の五條氏邸で行われました。この祭は、南北朝時代に征西將軍懐良親王の補佐役として九州に下向した五條頼元侯を始祖とする五條家に、代々伝わる宝物の虫干しを兼ねて年二回行われています。

式典では、五條頼元侯の遺徳をしのび、公卿謡のほか、黒木小学校の大淵地区の児童らが「五條頼元卿」の歌を奉納しました。また、「友好交流都市協定」を締結した奈良県吉野町の北岡篤町長、南朝方を支えた菊池一族とのつ

ながりから交流をしている菊池市の江頭実市長も参列しました。三田村市長は「南朝の歴史文化を吉野町、菊池市一緒に全国に発信し、各市町の振興発展に結びつきたい。今年には文化振興に力を入れ、南朝と筑紫の君磐井を八女市の誇りと思えるような基盤を作っていきたい」と話しました。25代五條家当主の五條元滋さんは「680年前から続く五條家に伝わる御旗を守るお心を私も受け継ぎ、この後に続けていきたい」とあいさつしました。宝物の一般公開も行われ、多くの人が詰めかけ説明に聞き入っていました。

後

征西將軍良成親王をしのぶ「大仙公園祭」が10月8日(水)、矢部村御側のご陵墓のある大仙公園で行われました。良成親王は後村上天皇の皇子で後醍醐天皇の孫にあたり、叔父の懐良親王とともに南朝再興のため九州各地で戦いましたが、南朝の再興がなわず、矢部の地で35歳前後でお亡くなりになりました。

昨年に引き続き友好交流都市協定を締結した吉野町と南朝のつながりのある熊本県菊池市からも参加していただきました。三田村市長は「歴史的に深いつながりのある八女市と吉野町は、歴史文化交流

流を推進し、両市町のさらなる発展と歴史的遺産を後世に継承していくため友好交流都市協定を締結しました。また、熊本県菊池市ともよしみを通じているところです。私たちは、八女の地を守り育てられた方々に感謝し、絆を一層強め、自然や歴史・伝統芸能にあふれた風情豊かな八女を、後世の人々に渡さないでいかなければなりません」とあいさつしました。この日は地域住民など約300人が参加。地元保存会による公卿唄や浦安の舞が奉納され、若くして亡くなった親王の霊をなぐさめました。

大仙公園祭



4人の地元の女性による浦安の舞



参列者が見守る中、公卿唄が奉納されました

パープルズ2連覇達成

市内の各校区・地区から19チームが参加し、八女市子ども会方言かるた会が10月5日(日)、八女市矢部体育館で開催されました。静寂な会場の中、子どもたちは集中して取り組みました。予選リーグを勝ち抜いた4チームが決勝トーナメントへ進み、長峰校区のパープルズが見事優勝、2連覇を達成しました。

上位チームは、来年2月1日に大牟田市で開催される県子連南筑後ブロック新年から大会に出場します。

【結果】

- 優勝 パープルズ(長峰)
- 準優勝 上陽北浜B(上陽)
- 3位 岩崎子ども会(長峰)
- 4位 宅間田グリーン(長峰)



南筑後ブロック大会も期待のパープルズ

国保の医療費を抑制しましょう

●問い合わせ市民課国保年金係 ☎23・1116

国民健康保険（以下国保）は、被保険者の皆さんからいただいている国保税と国・県および市から交付される補助金等を財源として、その中から病气やけが、出産や死亡について必要な給付を行う制度です。医療費と皆さんが医療機関の窓口で支払われる一部負担金との差額は国保が負担しており、その半分は皆さんから納めていただいている国保税でまかなっています。国保税を納めていただかないと、その財源が少なくなり、国保の運営が困難となりますので、国保税は納期限までにきちんと納めましょう。

平成25年度の医療費は前年度より2.89%減りましたが、それでも実質1億円の赤字決算となりました。医療費がどんどん増えていけば、さらに赤字額が増え、皆さんに納めていただく国保税の税率を引き上げなければなりません。そうならないように皆さんひとりひとりの心がけによって、医療費を抑制しましょう。

医療費を抑制するために、お医者さんのかかり方や薬とのつきあひ方を考えてみましょう。

お医者さんには上手にかかりましょう

時間外や休日の受診は、急病などやむを得ない場合以外避けましょう。平日は都合が悪いから等の理由でむやみに休日や夜間に受診されますと重症といった緊急性の高い人の治療に支障をきたしますし、

お医者さんの負担にもなり、時間外の割増料金で医療費が高くなります。

重複受診はやめましょう

同じ病気で複数の医療機関を受診する重複受診（はしご受診）は、医療費の無駄になるうえに、注射や投薬の重複で副作用が出て、体に負担を

与える心配があります。

かかりつけ医を持ちましょう

「体調が悪いときは、まずここへ」という気軽に受診できる、かかりつけ医を持ちましょう。

かかりつけ医では、

▽受診手続きが簡単で待ち時間が短く、丁寧な診察が受けられます。

▽家族の病歴や健康状態を継続的に把握しているため、適切に対応してくれます。

▽精密検査や高度な医療が必要なときは、専門医を紹介してもらえます。

ジェネリック医薬品を利用しましょう

ジェネリック医薬品とは、最初に作られた医薬品（先発医薬品）の特許期間が終わった後に同じ成分・製造法で作られた薬のことです。開発費が低く抑えられていますので、安価になっています。厚生労働省が承認した薬だけしか流通していませんので、安全性や有効性は先発医薬品と同等といえます。

医療費を抑えるために、ジェネリック医薬品を利用しましょう。ジェネリック医薬品へ

の変更については、医師に相談しましょう。

※すべての病気の治療にジェネリック医薬品があるわけではありません。また、医師の治療上の方針でジェネリック医薬品に変更できない場合があります。しかし、ひとりひとりの額は少なくとも、積み重なれば大きな節約額となりますので、家計にもやさしいジェネリック医薬品に変えてみませんか。

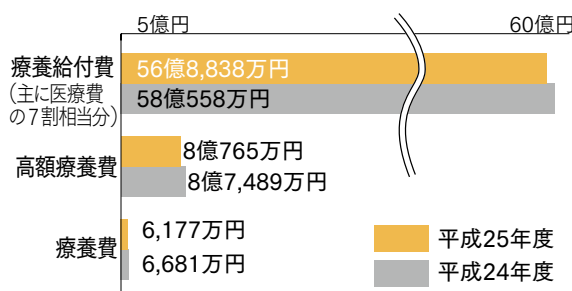
ジェネリック医薬品差額通知を発送しています

八女市では、国保に加入の皆さんに処方されたお薬もジェネリック医薬品だったかどうか、割引率をお知らせする差額通知を差額の額が大きい上位200人に毎月発送しています。

毎年特定健診を受けましょう

毎年特定健診を受けて、病気の早期発見に努めましょう。生活習慣病などは、自覚症状が現れにくいので、早期発見のためには特定健診が重要です。早めに治療を開始すれば、治療期間も医療費も少なくて済みます。

国保の医療費のうち主な歳出決算額（一般分+退職分）



八女市指定鍼灸院でのはり・きゅう治療の補助金制度

八女市指定鍼灸院でのはり・きゅう治療には、一回につき1000円の補助金制度があります。

※ただし、一人につき1か月7回まで。

【対象となる人】

- ▽八女市国民健康保険に加入中の入
- ▽八女市にお住まいで後期高齢者医療に加入中の人

【持参していただくもの】

▽被保険者証および印鑑を八女市指定鍼灸院に直接持参ください。※詳しいことは各鍼灸院または市民課国保年金係（☎23・1116）か公費医療係（☎23・1117）までお尋ねください。

税

について学ぼう

パート収入と税、源泉徴収と年末調整について

●年末調整で控除を漏らしたら確定申告を

給与収入だけの人で、所得税が給与から源泉徴収(※1)されており、年末調整(※2)が済んでいれば申告の必要はありません。パート・アルバイト・中途退職などで年末調整がされない人、年末調整で控除等を漏らした人は、確定申告をすることで所得税を精算することができます。

また、医療費控除・雑損控除・寄附金控除・住宅借入金等特別控除(初年度分)などは、年末調整では所得税の精算をすることができないので、確定申告が必要です。

《※1源泉徴収》勤務先が給与などを支払う際、所得税額をその収入に応じて計算して給与から天引きし、国に納めること。

《※2年末調整》勤務先がその年(1月1日～12月31日)最後に給与などを支払う際、1年間の収入額などから計算した所得税額と、これまで源泉徴収した所得税額を比べて過不足額を精算すること。扶養控除・社会保険料等控除・生命保険料控除などの証明書や申告書を勤務先に提出する必要があります。

●パート収入に対する所得税と市県民税

パート収入は通常、給与収入のため、所得税・市県民税の課税対象となります。

【所得税】 国に納める税(所得税)は、給与収入から給与所得控除額(最低65万円)と基礎控除(38万円)などの所得控除を差し引いた残りの額(課税所得)に課税されます。そのため、パート収入が103万円以下でほかに収入がない場合は、所得税はかかりません。

また所得税は、その年(1月1日～12月31日)の収入に対して課税されます。※所得税と市県民税では基準が異なるため、所得税がかからない場合でも市県民税がかかる場合があります。(表1)

【市県民税】 地方に納める税(市県民税)には所得割と均等割があります。所得割(税率10%)は、パート収入が100万円以下でほかに収入がない場合は、かかりません。均等割(税額5500円)は、パート収入が93万円以下でほかに収入がない場合は、かかりません。また市県民税は、1年間(1月1日～12月31日)の収入をもとに計算し、翌年度に課税されます。

※平成26年度から平成35年度までの10年間、「東日本大震災からの復興に

給与収入がある人の年末調整の時期が近づいてきました。給与収入と税金の関係、配偶者控除等についてお知らせします。
●問い合わせ先 税務課 市民係
(023・1113)

関し地方公共団体が実施する防災のための施策に必要な財源の確保に係る地方税の臨時特例に関する法律」に基づき、市県民税の均等割が4500円から5500円へ引き上げられます。

●配偶者にパート収入がある場合

Aさん、Bさん夫婦の場合、共に収入がある場合でも、所得要件を満たせば、配偶者控除か配偶者特別控除のどちらかに該当します。(表1・2を参照)《例1》Bさんの収入が103万円以下の場合

Aさんの配偶者控除⇨所得税38万円、市県民税33万円
※所得税と市県民税の基準が異なるため、Aさんの配偶者控除に該当する場合でも、Bさんに市県民税の均等割がかかる場合があります。

《例2》Bさんの収入が103万円超141万円未満の場合

Aさんの配偶者控除⇨0円
Aさんの配偶者特別控除⇨Bさんの所得に同じ、所得税38万円から3万円まで、市県民税33万円から3万円まで
※配偶者特別控除は、Aさんの合計所得金額が1千万円(給与収入で約1231万円)を超える場合は受けられません。

(表1) パート収入に関する所得税と市県民税

給与収入	所得税	市県民税		所得税および市県民税		一般的な社会保険(保険証)※の扶養
		均等割	所得割	配偶者控除	配偶者特別控除	
93万円以下	かからない	かからない	かからない	受けられる	受けられない	認められる
100万円以下		かからない	かからない	受けられる	受けられない	
103万円	かかる場合がある	かかる場合がある	かかる場合がある	受けられない	受けられる ※表2参照	認められない
103万円超130万円未満						
130万円以上141万円未満						
141万円以上	かかる場合がある	かかる場合がある	かかる場合がある	受けられない	受けられない	認められない

(表2) 所得額と配偶者控除・配偶者特別控除

	Bさんの所得額	Aさんが受けられる控除額	
		所得税	市県民税
配偶者控除	380,000円まで	380,000円	330,000円
配偶者特別控除	380,001円～399,999円まで	380,000円	330,000円
	400,000円～449,999円まで	360,000円	330,000円
	450,000円～499,999円まで		310,000円
	500,000円～549,999円まで		260,000円
	550,000円～599,999円まで		210,000円
	600,000円～649,999円まで		160,000円
	650,000円～699,999円まで		110,000円
	700,000円～749,999円まで		60,000円
	750,000円～759,999円まで		30,000円

※社会保険(保険証)の扶養については一般的な例ですので勤務先で確認をお願いします。

申請はお済みですか？ お早めに、お忘れなく！

臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金

平 成26年4月からの消費税率の引き上げに伴う影響に配慮し、所得の低い人々に「臨時福祉給付金」、子育て世帯に「子育て世帯臨時特例給付金」を給付しています。

「臨時福祉給付金」の対象となる人は、平成26年1月1日八女市に住民登録をしていた人で、平成26年度分の住民税（市町村民税〈均等割〉）が課税されていない人です。ただし、課税されている人に扶養されている人や生活保護の受給者は除きます。「子育て世帯臨時特例給付金」の対象となる人は、平成26年1月分の児童手当の受給者で、平成25年の所得が児童手当の所得制限に満たない人になります。受給できる可能性がある人（世帯）に対して、6月30日から随時申請書を郵送しています。申請書が届いた人は、お早めに申請をお願いします。

詳しくは、広報やめ6月15日号、7月1日号、八女市公式ホームページ等をご覧ください。

【申請期間】

7月1日(火)～12月31日(水)まで（※消印有効）

【問い合わせ】

八女市臨時給付金担当

(☎0943・248・8091 / 24・8092)

「振り込め詐欺」や「個人情報の詐取」などの臨時給付金詐欺にご注意ください!!

- 市・県・国などがATM（銀行・コンビニなどの現金自動支払機）の操作をお願いすることは、絶対にありません。
- ATMを自分で操作して、他人からお金を振り込んでもらうことは絶対にありません。
- 臨時給付金のために手数料などの振り込みを求めるとは絶対にありません。ご自宅や職場などに不審な電話がかかってきたり、郵便物が届いたりしたら、迷わず右記の八女市臨時給付金担当や最寄りの警察署にご連絡ください。

11月から来年2月にかけて年金に関する書類が届きます

次に該当する皆さんに、日本年金機構から年金に関する書類が届きます。提出が必要なものについては、忘れずに提出していただくようお願いいたします。

▽高齢厚生年金を受給している人

老齢厚生年金の受給額が「65歳未満で108万円以上」「65歳以上で158万円以上」で所得税が源泉徴収されている人には、11月ごろ「扶養親族等申告書」が送られてきます。老齢または退職による年金は所得税の課税対象となっており、年金の支払者である日本年金機構は、その支払の際に所得税を源泉徴収することが義務付けられています。源泉徴収の際は各種の控除を受けることができますが、その控除額の算出のために、年金受給者は「扶養親族等申告書」の提出が必要になります。提出先は、日本年金機構となりますので、必要事項を記入のうえ、提出ください。

▽国民年金保険料を納付した人

国民年金保険料は、すべて社会保険料控除の対象になります。年末調整や確定申告の際には「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」の添付が必要です。平成26年中に国民年金保険料を納付した人には、次のとおり「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」が送られてきますので大切に保管してください。「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」についての照会は、控除証明書のはがきに表示されている番号にお問い合わせください。

●11月に送付される人⇒1月から9月までの間に国民年金保険料を納付した人

●翌年2月に送付される人⇒10月から12月までの間に、今年初めて国民年金保険料を納付した（する）人

秋季全国火災予防運動

11月9日(日)～15日(土)

八女消防本部 (☎24・0119)



11月9日から15日まで、秋季全国火災予防運動が実施されます。

秋になり、朝夕の冷え込みを感じる時季になってきました。これからの季節、少しずつ寒さが増し、空気が乾燥し、火災が発生しやすい時季を迎えます。火災は、ちょっとした不注意で起こることが多く、一人ひとりの心がけで防げることができます。

火災から大切な人の命、自分自身の命、貴重な財産を守るため、防火防災に対する意識を高め、火災を未然に防ぎましょう。

お知らせ



八女市体育協会

- ① 田主丸かつばウオーク
●日時 11月3日(祝)、8時八女伝統工芸館前集合。乗り合わせで出発。参加費300円
- ② 清水山もみじウオーク
●日時 11月23日(日)8時30分八女伝統工芸館前集合。乗り合わせで出発。参加費300円
- ①②共通
●持参品 水筒・雨具・コップ・健康保険証等
- 問い合わせ 同会荒川さん (090・4997・5813)

第12回納楚文化祭

- どなたでも参加ください。
- 日時 11月8日(土) 10時～17時 9日(日) 10時～16時
- 場所 納楚公民館

空き家情報を募集しています♪

空き家を売りたい・貸したい人は、下記までお問い合わせください。

- 募集対象エリア=市内全域
- 問い合わせ=市長公室企画政策係 (☎24・8013)
- ★受付時間=平日9時～16時30分※お越しの際は必ず事前にお電話ください。

- 内容(参加無料) 作品展示、ホールインワン大会、竹細工教室、子どもイベント広場、ぜんざい会など
- 問い合わせ 実行委員長長牛島さん (023・0683)

陽だまりの里フェスタ

- 日時 11月8日(土)11時～15時30分
- 内容 サックス演奏、バルーンアート、おいしい模擬店など
- 会場 問い合わせ 障害者支援施設陽だまりの里(八女市本) ☎30・3055

八女軽トラ市

- 日時 11月9日(日)9時～12時 ※悪天候の場合中止
- 場所 八女観光物産館ときめき駐車場
- 問い合わせ 同実行委員会事務局 (022・3131)

UGGE八女ギター室内合奏団第43回定期演奏会

- 秋の夜長のひととき、県内唯一のギターオーケストラの演奏をお楽しみください。(客演 深町宏・サクセス)
- 日時 11月15日(土)18時30分
- 場所 おりなす八女
- 入場料 1000円(当日1200円)

藤岡 弘、講演会



八女市体育協会 50周年記念。俳優・武道家として活躍され、世界各地の紛争地域や難民キャンプで救援活動を展開する藤岡さんからの熱いメッセージ。

入場無料。●日時=11月30日(日)14時～(13時30分開場) ●場所=総合体育館2階球技場 ●演題=世界が求める日本の心～サムライ精神が日本を救う～ ●問い合わせ=八女市体育協会事務局(総合体育館内) ☎24・1230

八女市認知症シンポジウム

認知症になっても安心して暮らすために「最後まで尊厳をもって自分らしくありたい」という誰もが望む生活、認知症になっても安心して暮らすために八女市認知症シンポジウムを開催します。

- 日時=11月27日(木)18時30分～20時
- 会場=おりなす八女はちひめホール
- 内容=シンポジスト(認知症を介護している家族、ケアマネジャー、介護事業所それぞれの立場からの発言) / コーディネーター=パーソン・センター絆 川島豊輝さん ●対象=認知症に関心のある人 ●問い合わせ=介護長寿課地域包括支援係 (☎23・1203)

末石さん(☎23・3366) 「父を語る」講演会

広島に原子爆弾が落とされた数日後、父親のように慕っていた叔父を捜し求めて、廃墟の中から見つけたくすぶる「火」を持ち帰った山本達雄氏。ご子息の山本拓道氏から、父の当時の想いやその後を語っていただきます。参加無料

市町村対抗「福岡駅伝」

福岡県民体育大会冬季大会として、中学生からシニアまで男女9区間60市町村の選手たちが郷土の誇りを胸に激走します。声援をお願いします。

- 日時 11月16日(日)12時スタート
- 会場 筑後広域公園(周回コース)
- 問い合わせ スポーツ振興課 (☎24・1230)

健康21世紀福岡県大会

丸山さん(☎23・0144)

- 日時 11月16日(日)10時～16時30分
- 会場 九州芸文館(筑後市)
- 内容 わんわんとあそぼうショー、健康づくり講座、健康

市民との協働によるまちづくり提案事業 ひるさがりの朗読会を聴いて楽しむ本の世界♪

朗読と音楽による素敵な読書タイムをすごしませんか。朗読作品は『等伯』(安部龍太郎著)、『ぼうしをかぶったオニの

サウスまつり2014

社交ダンスや中高齢者体操、太極拳、フラダンスなど各教室の発表を行います。入場無料

- 日時 11月15日(土)9時
- 場所 八女市総合体育館
- 問い合わせ サウスクラブ事務局(総合体育館内) ☎24・1340

みんなで歌おうボンモマン

ハーモニカの伴奏で楽しく歌いませんか。参加費300円

- 日時 11月15日(土)14時～16時
- 場所 八女文化会館
- 問い合わせ サウスクラブハーモニカグループ『竹取物語』

げんき脳講座

介護長寿課高齢者支援係 ☎23・1308

継続して参加することで、仲間もできる楽しい講座です。1回だけの受講もできますし、どの会場にも参加できます。お友だちをお誘いのうえ参加ください。事前申し込み不要、参加無料。

- 対象＝認知症予防に関心がある人。
- その他＝保健師が物忘れ等に関する相談にも応じます。

	会場/日時	内容
八女会場④	社会福祉会館 3階大会議室 12月2日(火) 13:30～15:30	「自宅で実践できる認知症予防のコツ」/ 福祉レク・ワーカー角田良子さん ※動きやすい服装、飲み物・はさみ・のりを持参ください。
	総合福祉センター「かがやき」 12月3日(水) 13:30～15:30	「認知症の理解を深めよう」/ 八女市地域包括支援センター保健師
立花会場③		

岩戸山歴史資料館が開館して今年で30年を迎えます。この節目にあたり、改めて歴史資料館の「歴史」を振り返りながら、これからの岩戸山古墳や筑紫君磐井について再考します。定員100人。

「筑紫君を考える」講演会

- 問い合わせ＝NPO法人まなびと八媛 ☎22・2504
- 会場＝岩戸山歴史資料館
- 日時＝11月1日(土) 10:00～11:30
- 参加費＝無料

- 子(川崎洋著) など八女にゆかりのある作家の作品です。
- 出演者＝フリーアナウンサー 高月晶子さんほか
- 日時＝11月23日(日) 13時30分
- 会場＝14時開演(90分程度)
- 場所＝おりなす八女はちひめホール
- ※八女市立図書館本館・分館カウンターにて11月1日(土)から整理券を配布します。

紅葉の中でお茶会(江戸千家八女不白会)を楽しみます。初心者体験コーナーあり。日時＝11月24日(休) 13時～19時(お茶席は18時まで) 会場＝大人500円、高校生以下200円(当日券あり) 場所＝お問い合わせ＝開運寺(立花町北山井手の口) ☎23・0710

山寺のもみじ茶会

- 日時＝11月23日(日) 13時30分～15時30分
- 講師＝▽佐田茂さん(佐賀大学名誉教授) ▽川述昭人さん(元福岡県教育委員会文化財保護課副課長)
- 内容＝「岩戸山歴史資料館30年の歩みを振りかえろ」
- 会場＝お問い合わせ＝岩戸山歴史資料館 ☎22・6111

- 日時＝11月25日(火) 締切、先着20人。11月25日(火)締切、送迎バスあり。
- 日時＝11月29日(土) 11時～
- 場所＝柚の里溪流公園レストラン(矢部村)
- 参加費＝3000円(昼食代、お土産代込み)
- 問い合わせ＝秘境柚の里 ☎47・3000

小児救急講演会

お子さんの具合が急に悪くなった時にあわてなくてすむよう、いざという時の適切な対応を学びましょう。参加無料。託児はしませんが、お子様と一緒に利用可能な控室を用意します。

- 日時＝12月9日(火) 14時～15時30分 ※受付13時30分
- 場所＝お問い合わせ＝八女はちひめホール
- 内容＝子どもの病気、けがの対応やワクチンなどの話/ 筑後市立病院小児科科長中島正幸さん
- 申込方法＝12月1日(月)までに電話かファクスで(ファクスの様式は、福岡県庁ホームページからダウンロードできます)
- 申込・問い合わせ＝福岡県南筑後保健福祉環境事務所総務企画課 企画指導係 ☎0944・72・2111

年越しそば打ち体験

先着20人。11月25日(火)締切、送迎バスあり。

- 日時＝11月10日(月)、17日(日) 17時30分～18時30分
- 場所＝三河小学校体育館
- 対象＝小学4年生～6年生
- 参加費＝一般千円、会員300円
- 問い合わせ＝サウスクラブ ☎24・1340

子ども体操教室

- 日時＝11月10日(月)、17日(日) 17時30分～18時30分
- 場所＝三河小学校体育館
- 対象＝小学4年生～6年生
- 参加費＝一般千円、会員300円
- 問い合わせ＝サウスクラブ ☎24・1340

ビーチボールバレー教室

- 室内用運動靴を持参ください。
- 日時＝11月8日(土) 20時～
- 会場＝八女市総合体育館
- 問い合わせ＝サウスクラブ ☎24・1340

献血にご協力ください

八女市献血推進協議会 ☎23・5816

日にち	時間	場所
11/12(水)	10:00～11:30 12:30～15:30	総合体育館
11/13(木)	10:00～11:30 12:30～15:30	ふじの里(黒木町)

「いいな、いい歯。」無料健診・フッ素塗布を実施します。

八 女筑後歯科医師会では11月4日(火)～8日(土)の期間に、各診療所において無料の歯科検診・フッ素塗布を実施します。健診のみの診療所もありますので、事前に電話で予約してください。※実施機関は八女筑後歯科医師会HPで確認ください。

●問い合わせ＝八女筑後歯科医師会 ☎24・4829

講道館護身術講習会

- 八女警察署管内では、声かけ・つきまとい等が増加しています。家族一緒に護身術を学んでみませんか。元警察官柔道・逮捕術指導員等が指導します。受講料無料。
- 日時＝11月16日(日) 19時15分～20時45分(毎月第3日曜日)
- 会場＝総合体育館1階柔道場
- 問い合わせ＝大塚さん ☎090・1874・5683

子ども体操教室

- 日時＝11月10日(月)、17日(日) 17時30分～18時30分
- 場所＝三河小学校体育館
- 対象＝小学4年生～6年生
- 参加費＝一般千円、会員300円
- 問い合わせ＝サウスクラブ ☎24・1340

子ども体操教室

- 日時＝11月10日(月)、17日(日) 17時30分～18時30分
- 場所＝三河小学校体育館
- 対象＝小学4年生～6年生
- 参加費＝一般千円、会員300円
- 問い合わせ＝サウスクラブ ☎24・1340

ビーチボールバレー教室

- 室内用運動靴を持参ください。
- 日時＝11月8日(土) 20時～
- 会場＝八女市総合体育館
- 問い合わせ＝サウスクラブ ☎24・1340

犬のしつけ方教室

しつけのできていない犬は問題行動を起し、飼い主との関係を悪くします。可能性のある限り犬は成長し続けます。要申込。※犬は同伴できません。

●日時 11月30日(日)10時～11時40分

●場所 柳川総合庁舎(柳川市三橋町今古賀)

●申込 問い合わせ 県南筑後保健福祉環境事務所
(0944・72・2163)

てがみ絵教室

●日時 12月6日(土)、7日(日)14時～16時

●会場 勤労青少年ホーム1階

●申込受付 11月1日(土)～(各日先着10人)

●参加費 千円(材料費)

野菜茶業課題別研究会 (農研機構セミナー)

「茶の香りに関する研究の現状と課題」をテーマに、茶の香りに関して最新の研究動向や茶における成果を紹介し、いかに需要につなげるか検討するための研究会を開催します。

●日時 11月21日(金)10時～16時

●場所 おりなす八女

●内容 食品香気研究の現状(九州大学大学院農学研究員下田満哉さん)▽金沢の伝統食品「棒茶」の香気成分(石川県工業試験場笹木哲也さん)▽ここまで分かった煎茶の香り2014(農研機構野菜茶業研究所水上裕造さん)▽香りに特徴のある茶品種「おくはるか」の育成とその香りについて/埼玉県農林総合研究センター茶業研究所高橋淳さん▽官能評価による茶の品種香気特性の解明/茶の香りを楽しむ文化を広めるために(鹿児島県立短期大学木下朋美さん)▽総合討論(農研機構野菜茶業研究所堀江秀樹さん)

相談

養育費等に関する弁護士相談

●期日 11月5日(水)、13日(木)、26日(水)、18時30分～12月3日(水)、13時

●場所 県南筑後保健福祉環境事務所

無料

風しん抗体検査を実施しています

「赤ちゃんが欲しいけど、風しんの免疫はあるのかな?」と心配に思っている人は、風しん抗体検査を無料で受けてみませんか。対象者は福岡県内(福岡市・北九州市・久留米市・大牟田市を除く)に住民票がある原則20歳以上の①妊娠を希望する女性、あるいは、②妊婦の配偶者(パートナー)です。

※過去に風しん抗体検査を受けたことがある人、風しんの予防接種歴が明らかである人、検査で確定診断を受けた風しん既往歴がある人は除きます。

※検査希望者は事前に予約が必要です。詳細は問い合わせください。

●日にち=11月17日(月)・12月22日(月)

●受付時間=10時～12時

●場所=県南筑後保健福祉環境事務所八女分庁舎2階(八女市本村25)

●検査項目=風しん抗体検査(検査結果は10日後に郵送でお知らせします)

●持参する物=住所・年齢を証明する書類(運転免許証・健康保険被保険者証等)対象者②の人は、母子保健手帳または妊娠届出書(写しでも可)

●問い合わせ=福岡県南筑後保健福祉環境事務所保健衛生課感染症係
(0944・72・2812)

●場所 県南筑後保健福祉環境事務所

●申込 問い合わせ 県南筑後保健福祉環境事務所

福岡の弁護士による交通事故無料法律相談

「保険会社の対応が悪い」「示談金額が妥当かどうか分からない」など、お困りの人は相談ください。相談や借金など日常の法律相談もお受けします。

●日時/場所 11月8日(土)13時～17時/久留米ステーションホテル1階(久留米市中央町) ②11月16日(日)13時～17時/久留米商工会議所2階

●予約電話 0120・502・251

暴力被害集中相談

警察・弁護士会・暴追セン

●お問い合わせ 県消費生活セン

●日時 11月8日(土)10時～15時

●会場 八幡小学校

●内容 ふれあいステージ、ふれあい市場、ふれあい展示、八幡小の子どもたちからの発信、熱気球体験(8時～9時)

●問 西公民館(024・5272)

ター等が連携して、面接・電話による相談を実施します。

●日時 11月8日(土)10時～16時

●場所 久留米市役所3階

●相談電話 0942・309055

●お問い合わせ (公財) 県暴力追放運動推進センター
(092・651・8938)

多重債務者無料相談ウィーク

福岡県、県弁護士会と県司法書士会が連携して、多重債務でお悩みの人の問題の解決、救済を目的に相談を受け付けます。相談無料、秘密厳守。

●日時 11月10日(月)～14日(金) 受付時間 9時～17時

●相談方法 電話で受付をし、最寄りの弁護士会、または司法書士会の相談窓口を紹介後、面談を実施。

●お問い合わせ 県消費生活セン

●日時 11月17日(月)～11月23日(日)【平日】8時30分～19時【土日】10時～17時

●全国共通人権相談ダイヤル 0570・070・810

全国斉女性の人権ホットライン

夫・パートナーからの暴力、職場でのセクハラ、ストーカーなど女性に関する人権問題を、人権擁護委員と法務局職員が無料で相談に応じます。秘密は守られますのでひとりで悩まずにご相談ください。

●相談日時 11月17日(月)～11月23日(日)【平日】8時30分～19時【土日】10時～17時

●全国共通人権相談ダイヤル 0570・070・810

★「女性の人権ホットライン」では強化週間以外でも女性からの人権に関する電話相談を、平日の月曜から金曜の8時30分～17時15分まで(それ以外は留守番電話対応)受け付けています。

「茶のくに・やめ」
マラソン大会

- 期日=1月25日(日)
- 会場=べんがら村周辺
- 種目=▽ファミリー 1.5キロ
▽小・中学生 2キロ
▽一般・マスターズ 5キロ
▽一般 10キロ
- 参加資格=健康に自信のある5歳以上の人
- 参加料=1,000円(小中学生は500円)
- 申込方法=申込書に必要事項を記入の上、最寄りの郵便局にて参加料を振り込むか、参加料と申込書を直接八女市総合体育館へ持参ください。
- 申込締切=12月21日(日)
- 問い合わせ=八女市総合体育館
(☎24・1230)



参加者募集!

●問い合わせ=福岡法務局人権擁護部(☎092・832・4311)

空家・空地活用無料相談会

空き家バンク協定不動産業者が対応します。

- 日時=11月26日(水)14時~16時
- 場所=おりなす八女研修棟第1研修室
- 問い合わせ=代表大石さん
(☎23・4775)

お金に関する生活再生無料相談会

- 福岡県がグリーンコープ生協ふくおかとの協働事業として実施します。(秘密厳守、要予約)
- 日時=11月27日(木)10時~16時
- 場所=おりなす八女第1研

修室

- 内容=債務や家計の問題に関する相談。生活資金の貸付や家計指導も実施します。貸付限度額150万円、貸付利率9.5%、返済期間最長5年(審査あり、事業資金対象外)
- 問い合わせ=グリーンコープ生活再生相談室(久留米相談室)
(☎0942・36・8877(毎週月~土、9時30分~18時))

年金相談

- 月に一度、久留米年金事務所の職員が商工会議所で個別に年金相談に応じます。相談を希望する人は、前日までに同事務所へ予約してください。
- 相談日/会場=▽11月27日

(内)筑後商工会議所▽12月17日(水)/八女商工会議所

- 時間=10時~16時
- 申込・問い合わせ=同事務所(☎0942・33・6215)
- ※年金の受給や請求についての問い合わせは、「ねんきんダイヤル」でも受け付けています。
- 「0570・05・1165」または「03・6700・1165」へお電話ください。

試験

公立八女総合病院職員

平成27年4月1日採用予定。試験日・受験資格等は公立八女総合病院のホームページをご覧ください。

- 募集区分/採用予定数=臨床検査技師/若干名
- 問い合わせ=同病院(☎23・4131)

就業支援

子育て女性合同会社説明会

- 「子育て女性のための就職支援セミナー&合同会社説明会in久留米」を開催します。参加無料。託児無料、定員20人(先着順、前日までに要予約)
- 日時=11月7日(金)10時~14時30分

●場所=久留米市役所2階くろみホール

- 内容=【就職支援セミナー】①「もう一度働きたい」私を叶える基本講座(先着50人、事前予約優先) ②好感度アップ講座/メイク術 ③「就職活動に役立つビジネスマナー」
- 【子育て女性のための合同会社説明会】約10社出展予定
- 申込・問い合わせ=福岡県子育て女性就職支援センター
(☎0942・38・7579)

大牟田高等技術専門学校

受講料無料、テキスト代等自己負担。詳細は問い合わせください。

- 募集科(定員)=経理事務科②(30人)
- 募集期間=12月2日(火)まで
- 受講期間=1月6日(火)~6月30日(火)(6か月)
- 申込=ハローワーク八女
(☎23・6188)
- 問い合わせ=同校
(☎0944・54・0320)

募集

童男山古墳の整備ボランティア

南筑後地域環境協議会では、自然観察のフィールドを整備

平成27年度 看護学生募集

区分	准看護科	看護科(夜間定時制)
募集人員	70人	40人
修業年限	2年	3年
願書受付	12/4(木)~12/10(水)	11/25(火)~12/3(水)
入試日	12月13日(土)	12月6日(土)
問い合わせ	大牟田医師会看護専門学校(☎0944・52・7698) / 大牟田市不知火町 3-104	

するため、地元の童男山・犬尾城址保存会および(株)伊藤園からのボランティアと協働で古墳周辺の草刈などを実施します。協力いただけるボランティアを募集します。

- 日時=12月7日(日)9時30分~(2時間~3時間程度予定)
- 集合場所=県立ふれあいの家南筑後駐車場(山内)
- 準備するもの=飲み物、タオル、動きやすい服装
- 対象=小学生以上(小学校4年生以下は保護者同伴)
- 申込・問い合わせ=①氏名②年齢③住所④連絡先を明記し、ファクスまたはメールで12月1日(日)までに申し込みください。
- 南筑後保健福祉環境事務所地域環境課(☎23・6963 / ☎23・7424 / nanchiku-hi@pref.fukuoka.jp)



筑後市

【第4回まかない飯グランプリ】●日時=11/16(日)11:00~18:00●場所=筑後広域公園●問=商工会議所(☎0942・52・3121)

【第28回絆の里巡りin筑後】●日時=11/22(土)・23(日)9:00~17:00●場所=熊野区公民館●問=筑後市観光協会(☎0942・53・4229)

柳川市

【白秋祭水上パレード】●日時=11/1(土)~3(祝)18:00~21:00●場所=川下りコース●問=観光案内所(☎0944・74・0891)

【柳川よかもんまつり】●日時=11/22(土)10:00~16:00、23(日)9:00~16:00●場所=有明地域観光物産公園●問=市観光課(☎0944・73・8111)

みやま市

【第4回まるごとみやま秋穫祭】●日時=11/15(土)~16(日)9:30~16:00●場所=みやま市図書館駐車場周辺●問=同実行委員会(☎0944・63・6111)

広川町

【ひろかわ古墳まつり】●日時=11/9(日)9:00~15:00●場所=石人山・弘化谷古墳公園●問=同実行委員会(☎32・1142)

一般

小・中学校の体育施設利用

市民のスポーツ活動に体育館や運動場を開放しています。利用したい人は必ず参加してください。(事前登録必要)

- 12月利用者の会=11月22日(土)
- 時間・学校名=▽13時30分(福島小、長峰小、福島中)
- ▽14時15分(八幡小、岡山小、西中)▽15時(上妻小、三河小、南中)▽15時45分(忠見小、川崎小、見崎中、上陽北浜学園)
- 会場・問い合わせ=総合体育館(☎24・1230)

第35回空き缶・空きびん(散乱ごみ)回収キャンペーン

清潔で美しいまちづくりをめざして空き缶や空きびん(散乱ごみを含む)を地区ごとに回収

します。参加者には資源ごみ(新聞や雑誌などの紙類)を出す時に結び、そのままりサイクルできるエコ紙ひもを配布します。

●期日=11月16日(日)※各地区によって集合時間、場所が異なります。詳細は各行政区長へお問い合わせください。

- 集合場所=【市役所】福島
- 【各行政区】長峰・上妻・三河・川崎・忠見・岡山・黒木・豊岡・串毛・木屋・笠原・大淵・光友・北山・白木・辺春・上陽
- 【西公民館】八幡
- 【矢部まつり会場】矢部
- 【各地区集会所】星野
- 問い合わせ=▽本庁社会環境課(☎23・1462)▽黒木総合支所(☎42・1463)

- ▽立花支所(☎23・4933)
- ▽上陽支所(☎54・2218)
- ▽矢部支所(☎47・3111)
- ▽星野支所(☎52・3113)

「緊急消防援助隊九州ブロック訓練」災害と間違えないようご注意ください!

福岡県筑後地域で大規模地震発生という想定で、緊急消防援助隊の技術・連携の向上と応援体制、受援体制の確立を図ることを目的に、平成26年度緊急消防援助隊九州ブロック訓練が実施されます。本会場は、久留米市リバーサイドパークですが、22日の訓練では、八女市矢原(矢部川河川敷)においてもサテライト会場として訓練を実施します。多数の他消防本部の車両が市内を走行することが予想されますので、実災害とお間違えのないようご注意ください。

●訓練日時=11月22日(土)9時~23日(日)12時30分

●問い合わせ=八女消防本部(☎24・0119)

農地を貸したいとお考えの皆様へ

農 地中間管理機構(公益財団法人福岡県農業振興推進機構)を通じて、農地を貸しませんか?農地中間管理機構は、農地を貸したい人から、規模拡大などをしたい人(担い手)への農地の集積・集約化を進めるため、農地の中間的受け皿となる組織です。農地中間管理機構を通じて農地を貸付けると、経営転換協力金(30~70万円/戸)の対象となる場合があります。貸付希望の受付は随時行っています(ただし、利用権設定は年2回の予定)。その他の協力金もありますので、交付の条件や申し

●問い合わせ=農業振興課(☎42・1115) / 立花支所産業経済課(☎23・4940) / 上陽支所建設経済課(☎54・2219) / 矢部支所建設経済課(☎47・3111) / 星野支所建設経済課(☎52・3114) / (公財)福岡県農業振興推進機構(☎092・716・8355) / 福岡県水田農業振興課(☎092・643・3474)

指名手配犯の検挙にご協力を!

警 察では、11月中に総力を挙げて指名手配犯の追跡捜査を行います。指名手配犯の発見には、国民の皆さんのご協力がぜひとも必要です。「よく似た人を見かけた」といった情報など、どんなわずかなことでも結構ですので警察に通報していただくようお願いします。

●問い合わせ=八女警察署刑事課(☎22・5110)



相談はお気軽にどうぞ

無料法律相談 予約

- 11月20日(木)、12月4日(木)／相談 13:00～16:00／場所・法務局八女支局※予約・法テラス福岡 ☎050・3383・5502
- 11月14日(金)13:30～16:00／社会福祉会館 ※予約 ☎23・0294
- 11月21日(金)13:30～16:00／ふじの里(黒木) ※予約 ☎42・2131
- 11月28日(金)13:30～16:00／地域福祉センター(上陽) ※予約 ☎54・3003
- 11月21日(金)10:00～12:00／八女商工会議所※予約 ☎22・5161

男女共同参画推進支援委員相談 予約

- 11月13日(木)13:30～16:30※予約 男女共同参画・生涯学習課 ☎23・1314

女性相談

- 11月20日(木)9:30～11:30／働く婦人の家(立花)

障害者等相談支援センターリーベル出張相談

- 11月18日(火)10:00～11:00/黒木総合支所
- 11月14日(金)13:00～14:00/矢部公民館
- 11月18日(火)13:00～14:00/そよかぜ(星野) 問い合わせ＝リーベル ☎22・2610

なんでも人権相談(法務局 ☎23・2603)

- 11月7日(金)13:00～16:00／社会福祉会館

行政相談(総務課 ☎23・1111)

- 11月6日(木)13:30～16:00／社会福祉会館
- 11月5日(水)・19日(水)9:30～12:00／ふじの里(黒木)
- 11月11日(火)13:30～16:00／地域福祉センター(上陽)
- 11月10日(月)13:30～16:00／立花市民センター 2階

司法書士相談(社協 ☎23・0294)

- 11月14日(金)13:30～16:00/ふじの里(黒木)
- 11月21日(金)13:30～16:00/社会福祉会館

心配ごと相談(社協 ☎23・0294)

- 11月5日(水)、19日(水)13:30～16:00／社会福祉会館

- 11月5日(水)、19日(水)9:30～12:00／ふじの里(黒木)
- 11月12日(水)、26日(水)13:30～16:00／地域福祉センター(上陽)
- 11月12日(水)、26日(水)9:30～12:00／かがやき(立花)

日本政策金融公庫相談会

- 11月7日(金)13:00～15:00/商工会議所

税務相談会

- 11月10日(月)10:00～15:00/商工会議所

経営支援相談会 予約

- 11月17日(月)13:30～16:30／商工会議所 ※予約 ☎22・5161

補聴器の修理と相談(福祉課 ☎23・1335)

- 11月18日(火)13:00～14:30／八女市役所102会議室
- 11月13日(水)9:00～10:00／地域福祉センター(上陽)
- 11月14日(金)・18日(火)10:00～12:00／ふじの里(黒木)
- 11月18日(火)10:00～12:00／かがやき(立花)
- 11月27日(水)10:00～12:00／星野支所

家庭児童相談室 予約

- 平日9:30～16:00／市役所内 ※予約(☎23・1448)

こころの健康相談 予約

- 毎週月曜日14:30～16:00／南筑後保健福祉環境事務所分庁舎(八女総合庁舎) ※予約 ☎0944・72・2176

エイズ検査 予約 とエイズ電話相談

- 毎週月曜14:00～15:00／南筑後保健福祉環境事務所分庁舎(八女総合庁舎) ※予約 ☎0944・72・2812

弁護士多重債務相談 予約

- 毎週火曜13:30～16:00／社会福祉会館 ※予約 ☎0942・30・0144

消費生活相談(来訪または電話相談)

- 月～金曜8:30～16:30／八女市役所消費生活相談窓口 ☎23・1183

- 毎週水曜9:00～16:00／黒木総合支所第3相談室 ☎42・1111

消費生活無料法律相談 予約

- 11月18日(火)13:00～16:00/八女市役所消費生活相談窓口 ※予約 ☎23・1183

電話相談

教育相談

- 平日9:00～17:00／八女市教育委員会 ☎0120・784・110

教育相談 予約

- 無休・24時間受付／南筑後教育事務所 ※予約 ☎0942・52・4949

交通事故相談

- 平日9:15～17:00／日本損害保険協会 そんぽADRセンターナビダイヤル(☎0570・022808)

犯罪被害者相談電話

- 平日9:00～17:45／県警察本部(☎092・632・7830)

難病ホットライン

- 平日8:30～17:15／南筑後保健福祉環境事務所(☎0944・72・2610)

多重債務相談

- 平日9:00～12:00、13:00～17:00/福岡財務支局 ☎092・411・7291

クレジット・サラ金・ヤミ金・違法年金担保相談

- 平日18:00～20:00／福岡県青年司法書士協議会(☎092・724・9505)

高齢者総合相談窓口(平日8:30～17:15)

【地域包括支援センター】

- 八女市地域包括(本所内) ☎23・1203
- 八女市東部地域包括(黒木総合支所内) ☎42・1119

【高齢者相談センター】

- 社会福祉協議会(☎23・0294)
- 上陽支所(☎54・3629)
- 黒木支所(☎42・2131)
- 立花支所(☎37・0036)
- 矢部支所(☎47・3123)
- 星野支所(☎52・3165)

11月に納めるもの

- 国民健康保険税(5期)
- 後期高齢者医療保険料(5期)
- 介護保険料(5期)
- 住宅家賃
- 保育料

納期限・口座振替日は12月1日(日)

※納税は、安全便利な口座振替をご利用ください。納期限内の納付にご協力ください。遅れると延滞金が加算されることとなります。※納付書をなくされた人は担当課へご連絡ください。

▼人口と世帯(9月30日現在)

人口	67,343	(-90)
男	31,727	(-26)
女	35,616	(-64)
世帯数	24,324	(-10)
※()内は前月比		

▼9月の異動

出生	40人	転出	196人
転入	135人	死亡	69人

▼9月の火災・救急の状況

火災出火件数	3件	(32件)
救急出動件数	241件	(2,383件)
救急搬送人数	234人	(2,300人)

▼9月の交通事故の状況

人身事故発生件数	32件	(390件)
傷者	42人	(530人)
死者	0人	(4人)
※()内は1月からの累計		

おたんじょうびおめでとう

 山口 つむぎちゃん H25年11月1日生(星野村) 小さいけれども愛嬌よしこのつむぎちゃん いつも癒しもくれてありがとう	 三角 優月ちゃん H25年11月1日生(立野) 1歳おめでとう! これからもにこにこ笑顔で元気に育ってね♡	 岡 学ちゃん H25年11月13日生(稲富) いつもニコニコ学くん。これからも元気いっぱい大きくなってね。	 榎原 唯ちゃん H25年11月13日生(黒木町) 好奇心&食欲旺盛な唯♪家族みんな、笑顔をもらっているよ♡	 武藤 将真ちゃん H25年11月15日生(立花町) たくさんの幸せをありがとう! 元気で思いやりのある子に育ってね	 橋本 陽向ちゃん H25年11月16日生(黒木町) 祝1歳おめでとう! 陽向の笑顔が大好きです♡これからも元気に育ってね。
 繁山 咲斗ちゃん H25年11月18日生(室岡) 1歳おめでとう! 咲斗のかわいい笑顔が大好きだよ。パパママより	 坂本 隼颯ちゃん H25年11月19日生(馬場) はやちゃん1歳おめでとう♡元気がいっぱい大きくなあれ!!	 橋本 凜ちゃん H25年11月19日生(立花町) 凜ちゃん1歳おめでとう♡笑顔のステキな女の子になってネ♡	 高山 一希ちゃん H25年11月20日生(立花町) ♡祝1歳♡たくさん食べて寝て大きくな〜あれ! 一希の笑顔が大好きよ♡	 内藤 佳吾ちゃん H25年11月22日生(黒木町) 大好きな佳吾くん、おたんじょうびおめでとう! 元気に育ってね♡	 井上 蘭ちゃん H25年11月27日生(宅間田) 蘭ちゃん♡祝1歳♡颯介さんと仲良く元気に大きくなあれ!
 大塚 未来ちゃん H25年11月27日生(立花町) ☆祝1歳☆ 未来にたくさんの幸せがおとずれますように♡	 牛嶋 彩菜ちゃん H25年11月29日生(納差) 彩菜ちゃんお誕生日おめでとう♡これからもますます育ってね♡	 城後 樹生ちゃん H25年11月29日生(龍ヶ原) 姉ちゃん大好き♡ツクン! 二人仲良くすこやかに育ってね♡♡	 山下 菜奈ちゃん H25年11月30日生(岩崎) 祝1歳♡食いしん坊かんちゃん♡いっぱい食べて大きくなってネ♡	<p>満1歳のお子さまの写真を募集しています。名前・生年月日・住所・簡単なコメント(30字以内)を添えて、誕生日前月の7日までに直接お持ちいただくか、郵送でお申し込みください。応募多数の場合は先着順となります。</p> <p>●申し込み=市長公室秘書広報係 (☎23・1110)</p>	

茶のくに観光案内所のおすすめスポット

No.18

天高く、八女・奥八女も豊穡のときを迎えましました。今回は秋の紅葉おすすめスポットの矢部村の八女津媛神社を紹介します。西暦719年創建と伝えられる八女津媛神社はパワースポットとして有名。境内に辿り着いた瞬間、何とも言えず神聖な気持ちになります。樹齢推定600年を誇る権現杉、神ノ窟の岩清水など神秘的な空気につつまれ、縁談・子宝に恵まれるとして女性の神様とも呼ばれています。また、シンボルである権現杉は、幾多の天災にも臆することなく堂々たる雄姿。村の守り神で地域の宝である御神木を囲む矢部杉の回廊も昨年に作られました。いつの季節も人気です『秋の紅葉が一番、紅葉のいい時期は最高ですよ』と地元の方のお墨付きで



八女津媛神社 in 矢部村



八女市イメージキャラクター-みどりちゃん

す。紅葉の中を歩く遊歩道が昨年10月に完成。展望所もあり、緩やかな棚田やせせらぎを楽しめ、矢部の八名山のひとつ城山など連なる山々の美しい景色を見ることが出来ます。また、見下ろす紅葉の景色、参道を埋め尽くす紅葉のじゅうたんもおおすすめです。紅葉の時期は、参道沿いが早く、境内側が少し遅いので2回訪れる人も多いとのこと。今秋の見頃は11月初旬から中旬です。また八女津媛神社では5年に1度の「浮立」が11月16日に奉納されます。秋の日の一日を八女津媛神社へ。そして大仙公園や柚の里溪流公園と矢部村の紅葉を是非、お楽しみください。

●問い合わせ 八女市役所 矢部支所建設経済課(☎0943・47・3111)



～あたらしい郷土づくり～
ふるさとの恵みを生かし
安心して心ゆたかに暮らせる
交流都市 八女

■編集・発行 八女市役所市長公室秘書広報係
〒834-8585 福岡県八女市本町647番地
TEL 0943・23・1110 FAX 22・2186
■URL: <http://www.city.yame.fukuoka.jp/>
■E-mail: mail@city.yame.fukuoka.jp
※この広報紙は竹パルプ10%配合の環境に配慮した紙を使用しています



編集後記
▼校了日間近、数日続いた胃のあたりをしめつけるような痛み。胃腸科で受診、初胃カメラでいろいろと診断いただいたき、酒や刺激物、脂っこいものなどは絶対に禁止とのこと。まずは忘年会シーズンに向けて摂生に努めます(M・M)
▼山本健吉さん・石橋秀野さん・さだまさしさん・山本安見子さん、八女の地で結ばれた奇跡のようなご縁。コンサート当日、台風の影響がなかったのも奇跡のようでした。この奇跡を紡いでくださった関係者の皆様から感謝申し上げます(K・S)

FM YAME 80.1MHz NOW ON AIR!

FM八女制作番組 「がまだすワイド801」
毎週月曜～金曜 12:30～15:00 生放送!
※20:30～22:30まで毎日再放送しています。

